

## 基本方向1. 人権教育の推進 (1) 学校園などにおける人権教育の充実

★：枚方市人権尊重のまちづくり基本計画令和6年度取組実績に掲載している項目 ↓

人権問題	取り組みの方向性	担当課	取組名称	R6年度の取組内容	協働している関係機関等の名称 (基本方向4：関係団体、市民団体等との協働)	今後の方向	人権尊重のまちづくりの觀点から 工夫したことや課題など
1 女性の人権	男女共同参画等への理解促進	人権政策課 支援教育課	DV予防教育プログラム	①対象：枚方市内の児童・生徒 ②取組内容：学校生活の様々な場面において、自分も他者も尊重しながら問題を解決する姿勢を育むため、性別を理由とする差別や不平等、被害者となることが多い女性や女児に対する暴力等に終止符を打つ取組の一環として、男女の対等性や暴力を伴わない人間関係などを学ぶ。 ③実績値：小学校9校(627人)、中学校8校(1,335人)	特定非営利活動法人 SEAN	現状維持	一校でも多く、本プログラムを実施してもらえるように周知の仕方を考える。
2 子どもの人権	いじめ防止に関する教育の推進	人権政策課	いじめ未然防止ワークショップ ながれ星の絵をかこう	①対象：香里・川越留守儿童児童会室 ②取組内容：グループごとに協力してひとつの絵を完成させるワークを実施した。同じお題をもとに描いていても、グループごとに全く違う絵が完成することから、感じ方は人それぞれであることや、他者を否定しないコミュニケーションを体験することで、いじめ未然防止について考える機会とした。 ③実績値：2児童会室計60人	—	現状維持	「自分のイメージと違っていても否定しない」等のルールを設定し、ゲームを通してより良いコミュニケーションを体験できるよう工夫した。
2 子どもの人権	いじめ防止に関する教育の推進	公立保育幼稚園課	いじめの未然防止に係る幼児対象人形劇	①対象：就学前児童 ②取組内容：人形劇団を派遣し、友情や友達・仲間をテーマにした人形劇を実施した。 ③実績値：18施設 20講演	枚方市いじめ問題対策連絡協議会	現状維持	各研修の対象を、所管する公立施設のみでなく、民間の就学前児童施設も対象としていることで、より広く子どもの人権を考える機会を創設し、人権教育の充実を図っている。
2 子どもの人権	・子どもの権利の啓発推進 ・いじめ防止に関する教育の推進 ・学習支援の推進 ・児童虐待の予防・防止 ・暴力の予防に向けた教育・啓発の推進 ・相談・支援体制の充実	支援教育課	人権教育の推進	①対象：枚方市立小中学校 ②取組内容：『ともに学び、ともに育つ』教育の推進をはじめ、人権尊重の精神に立った学校園づくりを進め、すべての児童・児童・生徒の自立、自己実現、豊かな人間関係づくりが図られるよう、人権教育推進計画の作成・活用、見直しを発達段階に即したものとなるように留意して行った。 ③実績値：小学校44校 中学校19校	—	現状維持	
2 子どもの人権	・子どもの権利の啓発推進 ・いじめ防止に関する教育の推進	人権政策課	人権教室	①対象：児童・生徒 ②取組内容：人権擁護委員が小学校を訪問し、人権啓発DVDや冊子などを活用して、人権について考えることにより、命を大切にする気持ちや、他人を思いやる心を育むことを目的に、人権教室を実施した。また、令和6年度からは中学生向けの人権教室（デーDV）を開始した。 ③実績値：小学校人権教室参加者数 5校10クラス303人 中学校人権教室参加者数 1校5クラス170人	枚方地区人権擁護委員会	現状維持	枚方地区人権擁護委員会において、各小・中学校への担当を決めて事前に担当教諭と打ち合わせている。人権教室を通じて、相談窓口の案内を行い、児童・生徒が何かあればSOSを出せるよう心掛けている。
2 子どもの人権	・子どもの権利の啓発推進 ・いじめ防止に関する教育の推進	人権政策課	プライベートゾーンに係る子ども人権教室	①対象：未就学児や小学校低学年児童 ②取組内容：子どもたちが性被害の加害者にも被害者にも傍観者にもならないよう「自分の体は自分で守る」という意識を育む予防的啓発活動を実施した。 ③実績値：参加者数： 8小学校735人、市内幼稚園等7園328人	大阪第二人権擁護委員協議会	現状維持	・子どもへの性被害を防止するため、絵本や紙芝居を使ってわかりやすく伝えている。 ・授業参観日に実施希望の学校もあり、家庭で保護者と子どもが話し合えるよう配慮した。
3 高齢者の人権	・高齢者や認知症についての理解促進	健康福祉政策課	認知症フレンドリーキッズ授業	①対象：小学生 ②取組内容：認知症の基礎知識についてや、VRを使った認知症の人が見える世界を疑似体験してもらう授業を通して、正しく認知症について理解し認知症の人が尊厳を持ち住み慣れた地域で暮らし続けることができる共生社会を学ぶことを目的に、市内小学校2校（樟葉西小学校、招提小学校）で実施した。また、市主催で総合文化芸術センター別館（旧メセナ）で小学生向けに実施した。 ③実績値：参加人数135人	市内小学校	現状維持	
4 障害のある人の人権	・障害についての理解促進 ・相談・支援体制の整備・充実	支援教育課	「ともに学び、ともに育つ」教育の推進	①対象：枚方市立小中学校 ②取組内容：通級指導教室、支援学級の設置 ③実績値：通級指導教室（小学校22校、中学校19校） 支援学級（全小中学校63校）	—	拡充	ともに学びともに育つという考え方のもと、市内全校に通級指導教室を設置できるよう、拡充していく。
6 部落差別（同和問題）についての理解促進	部落差別（同和問題）についての理解促進	支援教育課	同和教育の推進	①対象：枚方市立小中学校 ②取組内容：関係法令及び答申等の趣旨を踏まえ、人権尊重の視点に立った取組を進めるとともに、同和問題の早期解決に向けて、人権教育の一環として年間指導計画に位置付け、同和教育を実施した。 ③実績値：小学校44校 中学校19校	—	現状維持	
8 HIV感染者、ハンセン病回復者及びその家族の人権	HIV感染者・ハンセン病についての理解促進	保健予防課 健康づくり課	HIV・性感染症の知識・検査を普及する「大学フェア」	①対象：市内5大学 ②取組内容：各大学内にて、HIVに関する啓発とともに健康づくりに関する内容（栄養・運動・歯科・たばこ・アルコール・心の健康・食中毒等）について知識の普及を目的とし啓発を行った。 ③実績値：449人	・摂南大学 ・大阪工業大学 ・大阪歯科大学 ・関西外国语大学 ・関西医科大学	現状維持	性的マイノリティやこころの健康など他の人権問題も考慮し啓発を継続する。
12 性的マイノリティ（LGBT等）の人権	性の多様性についての理解促進	支援教育課	ジェンダー平等教育の推進	①対象：枚方市立小中学校 ②取組内容：性的マイノリティとされる幼児・児童・生徒についての理解を深め、個の状況に応じ、教職員が協力して幼児・児童・生徒が相談しやすい環境を整えるとともに、心情に配慮した上で、幼児・児童・生徒が正しく理解できる教育を実施した。 ③実績値：小学校44校 中学校19校	—	現状維持	

## 基本方向1. 人権教育の推進 (2) 地域における人権教育の充実

★：枚方市人権尊重のまちづくり基本計画令和6年度取組実績に掲載している項目 ↓

人権問題	取り組みの方向性	担当課	取組名称	R6年度の取組内容	協働している関係機関等の名称 (基本方向4:関係団体、市民団体等との協働)	今後の方向	人権尊重のまちづくりの觀点から 工夫したことや課題など
2 子どもの人権	・子どもの権利の啓発推進 ・相談・支援体制の充実	子ども青少年政策課	青少年育成指導員向け講座	①対象: 青少年育成指導員 ②取組内容: 薬物乱用について基礎知識や枚方市における現状や取り組み等をテーマに、子ども青少年政策課職員による研修を実施した。 ③実績値: 38人	枚方市青少年育成指導員連絡協議会	現状維持	★ (P.4)
2 子どもの人権 16ひきこもりの状態にある人の人権	2:子どもの権利の啓発推進 16:ひきこもりに関する理解促進	まるっとこどもセンター	青少年育成指導員向け講座	①対象: 青少年育成指導員連絡協議会 ②取組内容: ひきこもりに関する基礎知識や枚方市ひきこもり等子ども・若者相談支援センターにおける取り組み等をテーマに、まるっとこどもセンター職員による研修「ひきこもりの若者への取り組みについて」を実施した。 ③実績値: 参加人数18人	—	現状維持	地域の中で支援に関わる市民の方が、ひきこもりに関する理解を深め、活動の中で役に立てるようグループワークを盛り込むなど、講座内容の工夫をした。
2 子どもの人権 16ひきこもりの状態にある人の人権	2:子どもの権利の啓発推進 16:ひきこもりに関する理解促進	まるっとこどもセンター	サポートフレンド養成講座	①対象: R5年度養成講座を受講し、サポートフレンド(ひきこもり等の子ども・若者に対する地域の中での理解者)に登録された方 ②取組内容: 新規のサポートフレンド養成講座は数年に1回の開催。R6年度は、継続的にひきこもり等への理解を深める取り組みを行った。 (1) ひきこもり等の子ども・若者のための居場所支援事業にサポートフレンドが参加。その参加者を対象に月1回のフォローアップ研修を実施。 (2) 全てのサポートフレンドを対象に、市民講座をスキルアップ研修と位置付けて実施。 ③実績値: 登録者数27人。 (1) 居場所支援への参加人数: 12人。居場所支援参加サポートフレンドへのフォローアップ研修: 実施12回。 (2) 全サポートフレンド対象のスキルアップ研修: 実施1回、参加者3人。	—	現状維持	サポートフレンドが理解を深め安心して関わることで、子ども・若者の支援となるよう、丁寧にフォローを行った。
3 高齢者的人権	高齢者や認知症についての理解促進	健康福祉政策課	認知症サポーター養成講座	①対象: 市民 ②取組内容: 認知症に関する正しい知識及び認知症の人に関する正しい理解を深めるため年5回講座を開催した。また、地域包括支援センターと協力し地域のコミュニティや企業等に対しても講座を開催した。 ③実績値: 養成人数1,310人	認知症キャラバン・メイト	現状維持	★ (P.4)
3 高齢者的人権	高齢者や認知症についての理解促進	健康づくり課	生活支援員養成研修	①対象: 枚方市内に住んでいる人、枚方市内で働きたい人 ②取組内容: 支援を必要とする高齢者に掃除や買い物、調理などの家事の支援を行う介護予防・生活支援サービス事業である生活援助訪問事業を担う「枚方市生活支援員」を養成するための講座を6回実施した。 ③実績値: 修了者数 52人	・生協法人 大阪高齢者生活協同組合 ・特定非営利活動法人 ニッポン・アクティブライフ・クラブ枚方拠点 ・公益社団法人 枚方市シルバー人材センター	現状維持	研修で使用するテキストに「尊厳の保持」の章を設けており、人権に係る基礎知識をはじめ、高齢者虐待や成年後見制度、倫理等を研修時間内に扱うことで理解を深めている。
3 高齢者的人権	高齢者や認知症についての理解促進	健康づくり課	ひらかた生き生きマイレージ	①対象: 枚方市介護保険の第1号被保険者のうち、介護保険料の滞納がない者 ②取組内容: 高齢者の社会参加を促進し、健康寿命を延ばすことを目的に、自らの知識・経験を生かして介護保険施設等で身体介護を伴わないサポーター活動を行う、ひらかた生き生きマイレージを実施した。また新任サポートナーの研修を3回実施した。 ③実績値: (活動参加延人数: 倦聴・見守り 538人、施設の手伝い 164人、喫茶 45人、レクリエーション 50人、書道・茶道 81人、麻雀・将棋等の相手 5人、歌・紙芝居 124人、園芸・畑づくり 105人、折り紙・ぬりえ 23人、演奏 161人) (受入先延人数: 特養 436人、デイサービス 669人、グループホーム 11人、介護老人保健施設 56人、有料老人ホーム 4人、障がい者地域活動スペース 77人、高齢者居場所 43人) (新任サポートナーの研修3回分: 参加者数 23人、うちサポートナー登録者数 16人)	生協法人 大阪高齢者生活協同組合	現状維持	新任者研修では、「豊かな地域社会は住民自身の手で」というテーマで人権も含めた内容を取り扱い学びを深めている。既存の登録サポートナーは年に3回実施する現任者研修のうち、1回の参加を登録継続の条件としており、認知症や障害疑似体験等、人権に関係するテーマを扱っている。
3 高齢者的人権 4 障害のある人の人権	3:高齢者や認知症についての理解促進 4:障害についての理解促進	健康福祉総合相談課	市民後見人養成講座	①対象: 将来市民後見人として活動する市民及び市民後見人 ②取組内容: 専門職や社会福祉協議会以外の権利擁護支援の新たな担い手として市民後見人の養成を行い、モチベーション維持のためにフォローアップ研修実施。 ③実績値: 6名が新たにバンク登録。フォローアップ研修は2回開催。	・社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会 ・ひらかた権利擁護成年後見センター	現状維持	★ (P.12) 受講者に合わせて、手話通訳や要約筆記の派遣を検討している。
3 高齢者的人権 4 障害のある人の人権	3:高齢者や認知症についての理解促進 4:障害についての理解促進	健康福祉総合相談課	市民啓発講座	①対象: 枚方市内在住・在職の市民 ②取組内容: 地域福祉への理解を深めることを目的として、枚方市社会福祉協議会と連携し、「成年後見制度」をテーマに寸劇や連続講座を開催。 ③実績値: 寸劇44名、連続講座①68名②64名③68名参加	社会福祉法人 枚方市社会福祉協議会	現状維持	手話通訳や車イスの方等、支援が必要な方には随時対応している。
3 高齢者的人権 4 障害のある人の人権	3:高齢者や認知症についての理解促進 4:障害についての理解促進	健康福祉総合相談課	支援者向け研修、親族後見人向け研修	①対象: 支援者(地域包括支援センター、障害者相談支援センター、居宅介護支援事業所、社協等)、現在親族の後見人等をしている人、これから親族の成年後見人等になることを検討している人 ②取組内容: 「消費者トラブルと成年後見制度」をテーマに支援者に理解を深めてもらえるよう後見人の役割や支援内容について研修会を実施。また、「後見人の役割、注意義務、留意点、家庭裁判所への報告」についての勉強会を実施。 ③実績値: 支援者36名、親族後見人等7名(受任者3名、検討している人4名)	ひらかた権利擁護成年後見センター	現状維持	手話通訳や車イスの方等、支援が必要な方には随時対応している。
4 障害のある人の人権	障害についての理解促進	障害企画課	枚方市手話講習会	①対象: 18歳以上の市民 ②取組内容: ろう者の生活や福祉制度への理解と認識を深め、更に日常生活上の基本的な手話を習得したい方に向けて講習会を実施した。 ③実績値: 修了人数 33人	枚方市聴力障害者協会	現状維持	
4 障害のある人の人権	障害についての理解促進	障害企画課	初級音訳講習会	①対象: 枚方市内に在住・在職・在学で点字やボランティア活動に意欲・関心のある人 ②取組内容: 視覚障害のある方への理解を深め、また、音声で分かりやすく伝えるための基本技術やデジタル録音技術(ディジタル形式)の基本を学ぶため講習会を実施した。 ③実績値: 修了人数: 5人	特定非営利活動法人 デイジー枚方	現状維持	

## 基本方向1. 人権教育の推進 (2) 地域における人権教育の充実

★：枚方市人権尊重のまちづくり基本計画令和6年度取組実績に掲載している項目 ↓

人権問題	取り組みの方向性	担当課	取組名称	R6年度の取組内容	協働している関係機関等の名称 (基本方向4：関係団体、市民団体等との協働)	今後の方向	人権尊重のまちづくりの觀点から 工夫したことや課題など
4 障害のある人の人権	障害についての理解促進	障害企画課	点訳講習会	①対象：枚方市内に在住・在職・在学で点字やボランティア活動に意欲・関心のある人 ②取組内容：点字板と点筆を使った点訳の基本技術や、疑似体験を通して、視覚に障害のある人の暮らしについて学ぶため講習会を実施した。 ③実績値：修了人数：5人	社会福祉法人 わらしへ会	現状維持	
5 こころの病（うつ病など）に関する人権	・こころの病（うつ病など）についての理解促進 ・相談・支援体制の整備・充実	保健医療課	ゲートキーパー養成研修	①対象：市民、関係機関職員、市職員 ②取組内容：こころの病や自殺に関する正しい知識について理解促進を図るため、留守家庭児童会室職員に対して「傾聴について学ぶ～ゲートキーパーについて知る～」をテーマに研修を実施。市民向けに1回、職員向けに2回、ゲートキーパー養成研修を実施した。 ③実績値：受講者 留守家庭児童会職員 153名 市民向け 29名 職員向け 1回目116名 2回目21名	—	現状維持	
5 こころの病（うつ病など）に関する人権	こころの病（うつ病など）についての理解促進	保健医療課	心のサポーター養成研修	①対象：市民、関係機関職員 ②取組内容：メンタルヘルスや精神疾患への理解を深め、心のサポーターが養成されていくことで、精神疾患の予防や早期介入につなげることを目的に、1回目オンライン、2回目対面で実施。 ③実績値：受講者 1回目17名、2回目74名	—	現状維持	
5 こころの病（うつ病など）に関する人権	・こころの病（うつ病など）についての理解促進 ・相談・支援体制の整備・充実	保健医療課	こころの電話相談ボランティア養成講座（フォローアップ研修）	①対象：電話相談員 ②取組内容：電話相談員のスキルアップを図り、相談事業の充実を目的にフォローアップ研修を実施。 ③実績値：実施回数55回、参加延人数457名	—	現状維持	
7 外国人の人権	・多文化についての理解促進 ・相談・支援体制の整備・充実	観光交流課	日本語ボランティア養成講座 日本語ボランティアステップアップ講座	①対象：市民 ②取組内容：会話や読み書きに困っている外国人に、ボランティアとして日本語を指導する方法を学ぶための講座と、外国人に日本語を教えたことがある人、日本語ボランティアについて学習経験がある人のための、日本語指導に必要な知識・スキルのレベルアップを目指す講座を実施。 ③実績値：日本語ボランティア養成講座34名、ステップアップ講座24名	公益財団法人 大阪YWCA	現状維持	講座を受けた後の継続した活動を促すことが課題。
7 外国人の人権	多文化についての理解促進	観光交流課	市民向け 国際理解講座	①対象：市民 ②取組内容：市内在住の外国人の現状について、ベトナムの地理や歴史、生活文化等の概要及びベトナムと日本の違いについて講座を実施。 ③実績値：64名	—	現状維持	在住外国人数が増加しているベトナムを対象に講座を行った。
7 外国人の人権	多文化についての理解促進	教育政策課 (文化生涯学習課)	朝鮮語教室	①対象：市民 ②取組内容：朝鮮語学習を通じて、隣国である朝鮮半島の文化等を理解し、韓国・朝鮮人を含めた全ての市民が、市民としての相互の交流を深め、多文化共生社会を醸成するとともに、国際交流の推進を図るために、通年の教室を開催した（年間授業日数40日）。 ③実績値：参加者数23人	—	現状維持	単に語学を学ぶだけでなく、朝鮮半島の歴史、生活、文化、在日韓国・朝鮮人をとりまく諸問題なども併せて学べる授業内容とすることで、異文化理解を深め、韓国・朝鮮人を含めた全ての市民が、相互の交流を通じて、共に多文化共生社会を作っていく第一歩にできるように工夫した。
17 様々な人権問題	様々な人権問題についての理解促進	人権政策課	なんでも、どこでも出前塾	①対象：民生委員・児童委員 ②取組内容：枚方市の人権施策を広く市民に理解してもらえるように、「なんでも、どこでも出前塾」に登録していた講座「人権について」について、申し込みのあった民生委員・児童委員に対して講座を行った。 ③実績値：参加者数 17人	—	現状維持	各校区委員会が指定する会場に赴き、さまざまな人権問題について、民生委員・児童委員の活動ともつながる内容を意識しながら、講座を実施している。
17 様々な人権問題	様々な人権問題についての理解促進	危機管理政策課	地域防災推進員育成研修会	①対象：枚方市民 ②取組内容：自助・共助による防災対策の重要性を地域全体に普及させる役割を担う人材を育成するため、これから地域の防災活動に携わることとなる市民を対象に、消防吏員の指導による救出・応急手当訓練や防災に関する講義等をカリキュラムに盛り込んだ「地域防災推進員育成研修会」を実施した。 ③実績値：実施回数1回、受講者数28人（再受講者3人を含む）、女性比率46%（前年度比27%増）。	枚方寝屋川消防組合	拡充	・避難所運営における防犯や衛生品の備蓄等といった様々な觀点から、防災活動には女性の視点が不可欠であるため、女性の積極的な受講を勧めた結果、受講者の女性比率が大きく向上した。 ・研修会のカリキュラムについても、上記の視点を踏まえた内容を検討している。

★  
(P.4)

## 基本方向1. 人権教育の推進 (3) 家庭における人権教育の充実

★：枚方市人権尊重のまちづくり基本計画令和6年度取組実績に掲載している項目 ↓

人権問題	取り組みの方向性	担当課	取組名称	R6年度の取組内容	協働している関係機関等の名称 (基本方向4：関係団体、市民団体等との協働)	今後の方向	人権尊重のまちづくりの觀点から 工夫したことや課題など
1 女性の人権	・男女共同参画等への理解促進 ・男女共同参画の視点を持った機会の充実	人権政策課	男女共同参画啓発講座	①対象：市民 ②取組内容：性別にかかわりなく誰もが個人として尊重される男女共同参画社会の実現に向けた啓発事業として、母娘関係を学ぶ講座、女性のためのセルフカウンセリング講座、ペーパークラフト講座や映画「ミッション・マンガル」上映会等を実施した。 ③実績値：参加者数480人	—	現状維持	
2 子どもの人権	児童虐待の予防・防止	まるっとこどもセンター	親支援プログラム	①対象：子育てについて悩み、よりよい子育て方法について学びたい保護者 ②取組内容：暴力や暴言ではなく、保護者が良好な親子関係を築くためのスキルを学ぶ「親支援プログラム」を実施。 （1）前向き子育てプログラム（3歳から就学前までの保護者対象）を1回（全8セッション）、（2）COSP(安心感の輪)プログラム（4か月から就学前までの保護者対象）を1回（全8セッション）実施。また、（3）幼児から小学4年生までの保護者を対象とした前向き子育て講座を1回、（4）思春期の保護者対象の講座を1回開催した。 ③実績値：参加者数（1）7人、（2）8人、（3）59人、（4）23人	—	現状維持	思春期の保護者対象の講座にて、手話通訳の利用希望があり、対応した。
2 子どもの人権	子どもの権利の啓発推進	まるっとこどもセンター	ひとり親家庭市民講座	①対象：枚方市民 ②取組内容：「子どもからみた親の離婚～共同親権等法改正について～」をテーマに講演を実施 ③実績値：会場参加者20人、オンライン受講者33人	—	現状維持	多くの方に受講できる機会を持つてもらうため、会場開催と動画による配信を行った。

★  
(P.4)

## 基本方向1. 人権教育の推進 (4) 企業等における人権教育の充実

人権問題	取り組みの方向性	担当課	取組名称	R6年度の取組内容	協働しているの関係機関等の名称 (基本方向4:関係団体、市民団体等との協働)	今後の方向	人権尊重のまちづくりの觀点から 工夫したことや課題など
1 女性の人権	・男女共同参画等への理解促進 ・男女共同参画の視点を持った機会の充実	人権政策課	男女共同参画推進本部研修	①対象:市の理事者、管理職員 ②取組内容: ジェンダー感覚をアップデートし、組織に必要なジェンダー平等意識の醸成を図ることを目的とし、「ダイバーシティを実現するために～ジェンダー感覚をアップデート～」をテーマに研修を実施。 ③実績値: 60人	—	現状維持	
1 女性の人権	被害者支援体制の充実	人権政策課	DV関係機関連絡会議実務者研修	①対象: 関係機関の職員 ②取組内容: DV被害者に対してより適切な支援を行うために、DVが心身に与える影響について学び、職員一人ひとりが市民と関わる上での心構えを振り返り、より適切なDV被害者支援を行っていくため、加害者対応をテーマに「強圧的コントロールの理解」を実施。 ③実績値: 30人	—	現状維持	
2 子どもの人権	子どもの権利の啓発推進	公立保育幼稚園課	就学前児童施設職員人権教育研修	①対象: 就学前児童施設職員 ②取組内容: 「就学前の子ども達の保育で大切にしていること=18歳までの育ちを見通して乳幼児期に大切にしたいこと=」をテーマにWEB開催により研修を実施した。 ③実績値: 1講座、参加者50名	—	現状維持	各研修の対象を、所管する公立施設のみでなく、民間の就学前児童施設も対象としていることで、より広く子どもの人権を考える機会を創設し、人権教育の充実を図っている。
2 子どもの人権	児童虐待の予防・防止	まるっとこどもセンター	包括支援センター職員向け ヤングケアラー研修	①対象: 包括支援センター職員 ②取組内容: 包括支援センター職員向けにヤングケアラーについて、研修を行った。 ③実績値: 参加者16名	—	現状維持	毎年度、研修する対象を変更し、ヤングケアラーに関する理解が進むよう取り組んでいる。 令和6年度は包括支援センター職員向けに実施した。
2 子どもの人権	児童虐待の予防・防止	まるっとこどもセンター	関係部署担当職員向け ヤングケアラー研修	①対象: 福祉関係職場の職員等 ②取組内容: ヤングケアラーに関する基礎知識の周知や実際の対応を想定したケース検討等を目的に、大阪府から派遣された講師による説明及びグループワーク形式の研修を実施した。 ③実績値: 参加者41名	—	現状維持	
2 子どもの人権	・子どもの権利の啓発推進 ・児童虐待の予防・防止	放課後子ども課	留守家庭児童会室職員研修	①対象: 留守家庭児童会室職員(直営・委託事業者)、放課後子ども課職員 ②取組内容: 子どもの権利について職員一人ひとりの人権意識の高揚を図ることを目的に「児童虐待防止について」、「学童保育における子どもの人権と職員の倫理」をテーマとした研修を各1回実施した。 ③実績値: 「児童虐待」144名受講 「子どもの人権」167名受講	—	拡充	・研修方法として、欠席した職員が視聴できるよう、当日研修の録画動画を課内で共有した。 ・子どもの権利の啓発推進のため、令和7年度は研修回数増を検討している。
2 子どもの人権 4 障害のある人の人権	2:子どもの権利の啓発推進 4:障害についての理解促進	公立保育幼稚園課	保育所等障害児保育実践者研修	①対象: 就学前児童施設職員 ②取組内容: 就学前児童施設職員を対象に、「さまざまなニーズをもつ子ども達とともに集団づくり～就学後を見通して、今大切にすること～」をテーマにWEB開催により研修を実施した。 ③実績値: 1講座、参加者52名	—	現状維持	各研修の対象を、所管する公立施設のみでなく、民間の就学前児童施設も対象としていることで、より広く子どもの人権や障害のある人の人権を考える機会を創設し、人権教育の充実を図っている。
2 子どもの人権 4 障害のある人の人権	2:子どもの権利の啓発推進 4:障害についての理解促進	公立保育幼稚園課	保育所等障害児保育担当保育士研修	①対象: 就学前児童施設職員 ②取組内容: 「子どもの主体性を大事にする保育～発達の視点と保育の手立てを結ぶ②～」をテーマにWEB開催により研修を実施した。 ③実績値: 1講座、参加者69名(公立17名、私立52名)	—	現状維持	各研修の対象を、所管する公立施設のみでなく、民間の就学前児童施設も対象としていることで、より広く子どもの人権や障害のある人の人権を考える機会を創設し、人権教育の充実を図っている。
2 子どもの人権 4 障害のある人の人権	2:子どもの権利の啓発推進 4:障害についての理解促進	公立保育幼稚園課	公立保育教育等関連施設職員保健研修	①対象: 公立保育教育等関連施設職員 ②取組内容: 保健知識の習得等のため、各種研修を実施した。 ③実績値: 1講座(オンラインにより実施)	—	現状維持	毎年度、保健についての理解促進に繋がるようなテーマ設定をしている
2 子どもの人権 4 障害のある人の人権	2:相談・支援体制の充実 4:相談・支援体制の整備・充実	公立保育幼稚園課	保健研修(中核市研修)	①対象: 就学前児童施設職員 ②取組内容: 「保育現場で起こる子どもの怪我や誤嚥等、緊急時の対応について学ぶ」をテーマに研修を実施した。 ③実績値: 1講座、参加者52名(公立28名、私立24名)	—	現状維持	各研修の対象を、所管する公立施設のみでなく、民間の就学前児童施設も対象としていることで、より広く子どもの人権や障害のある人の人権を考える機会を創設し、人権教育の充実を図っている。
2 子どもの人権 4 障害のある人の人権	2:子どもの権利の啓発推進 4:障害についての理解促進	公立保育幼稚園課	市町村保育担当職員等研修	①対象: 大阪府及び府下中核市就学前児童施設職員 ②取組内容: 対面研修「仲間と共に育ちあう保育・教育とは」など(1講座)を実施した。 ③実績値: 1講座、参加者1名	特定非営利活動法人 ちゃいるどネット大阪	現状維持	各研修の対象を、所管する公立施設のみでなく、民間の就学前児童施設も対象としていることで、より広く子どもの人権や障害のある人の人権を考える機会を創設し、人権教育の充実を図っている。
2 子どもの人権 4 障害のある人の人権	2:相談・支援体制の充実 4:相談・支援体制の整備・充実	市立ひらかた子ども発達支援センター	枚方市障害児等関係機関連絡会議機関向け研修	①対象: 庁内外の保育・教育・療育等を担当する機関の職員 ②取組内容: 障害児等が地域で活き活きと生活できる環境づくりを推進することを目的として、保育・教育・療育等を担当する機関が連携し、研修を実施する。 ③実績値: 保育・教育・療育等の関係者を対象に「障害のある子どもの青年期までを見通した発達的理解と支援」をテーマに研修を実施した。	・大阪府中央子ども家庭センター ・大阪精神医療センター ・大阪府立交野支援学校 ・大阪府立交野支援学校四條畷校 ・大阪府立枚方支援学校等	現状維持	
2 子どもの人権 4 障害のある人の人権	2:児童虐待の予防・防止 4:虐待防止の啓発推進	まるっとこどもセンター	関係機関向け研修	①対象: 要協構成機関の職員等 ②取組内容: 児童虐待防止の周知・啓発を目的に関係機関を対象とした研修会を「子どもを性暴力から守る～私たち大人がすべきこと～」及び「共感的理解から始める家族支援」をテーマに、2回実施した。 ③実績値: 参加者数延べ145人	—	現状維持	

## 基本方向1. 人権教育の推進 (4) 企業等における人権教育の充実

★：枚方市人権尊重のまちづくり基本計画令和6年度取組実績に掲載している項目 ↓

人権問題	取り組みの方向性	担当課	取組名称	R6年度の取組内容	協働している関係機関等の名称 (基本方向4：関係団体、市民団体等との協働)	今後の方向	人権尊重のまちづくりの觀点から 工夫したことや課題など
2 子どもの人権 4 障害のある人の人権	2:子どもの権利の啓発推進 4:・障害についての理解促進 ・虐待防止の啓発推進	放課後子ども課	留守家庭児童会室職員研修	①対象：留守家庭児童会室職員（直営・委託事業者）、放課後子ども課職員 ②取組内容：「発達障害や愛着障害を抱えた子どもの理解」や「配慮を要する子どもへの理解と対応」をテーマとした研修を各1回実施した。 ③実績値：「発達障害や愛着障害」 161名受講 「配慮を要する子どもへの理解」 146名受講	—	拡充	・研修方法として、欠席した全職員が視聴できるよう、当日研修の録画動画を課内で共有した。 ・子どもの権利の啓発推進のため、令和7年度は研修回数増を検討している。
2 子どもの人権 7 外国人の人権 12 性的マイノリティ（LGBT等）の人権 15 インターネットによる人権侵害 17 様々な人権問題	2:子どもの権利の啓発推進 7:多文化についての理解促進 12:性の多様性についての理解促進 15:インターネット上の人权侵害に関する教育・啓発の推進 17:様々な人権問題についての理解促進	教育研修課	人権教育研修	①対象：枚方市立小中学校園教職員（人権教育担当者） ②取組内容：・インターネットによる人権侵害について考えるとともに、実態に即した理解を深め、学校園の組織づくりの推進に資することをねらいとした研修を実施した。 ・「性教育」に対する認識を深めるとともに、人権尊重の精神を基盤とした学校園の組織づくりの推進に資することをねらいとした研修を実施した。 ・現代社会が抱える課題の背景や社会課題について理解を深め、多文化共生について考えるとともに、組織的課題を解決していく学校園の組織づくりの推進に資することをねらいとした研修を実施した。 ③実績値：研修会を3回実施し、延べ213名受講	—	現状維持	人権に関する多様な課題についての教職員の理解を深めるため、研修のテーマを毎年変更していく必要がある。
2 子どもの人権 16 ひきこもりの状態にある人の人権	2:子どもの権利の啓発推進 16:ひきこもりに関する理解促進	まるっとこどもセンター	枚方市子ども・若者支援地域協議会合同研修会	①対象：枚方市子ども・若者支援地域協議会参画機関および、枚方市不登校・ひきこもり家族会連絡会のメンバー ②取組内容：「和歌山県でのひきこもり支援の経過～エルシティオでの取り組みを通して～」をテーマに、ひきこもり等の若者支援に関わる関係機関と家族会にて合同研修会を実施した。 ③実績値：参加者数38名	枚方市不登校・ひきこもり家族会連絡会	現状維持	講師として、支援者とともに、ひきこもり経験者・当事者に登壇いただいた。安心して講演いただけるよう事前打ち合わせなど丁寧に行った。
6 部落差別（同和問題）	部落差別（同和問題）についての理解促進	人事課 人権政策課	人権研修	①対象：次長・課長 ②取組内容：職員の人権意識の向上を図るために、次長・課長を対象に「部落差別について」をテーマに人権研修を実施した。また、人権について改めて深く考える機会を創出し、多種多様な人権について理解を深めるとともに、人権問題を自分事として捉え、行動できる人材を育成するため、研修内容を元に各職場において職場研修を実施した。 ③実績値：参加者数166人、実施回数3回	一般財団法人 大阪府人権協会	現状維持	・手話通訳の必要な職員の有無を確認し、必要な職員がいた場合には対応できる体制を整えた。 ・各課で職場研修を実施する際は、各職場の状況に応じて内容を工夫し、研修を実施した。
6 部落差別（同和問題） 17 様々な人権問題	6:部落差別（同和問題）についての理解促進 17:様々な人権問題についての理解促進	人事課 人権政策課	人権研修	①対象：新任課長代理 ②取組内容：人権問題について当事者意識を持ち、相手の立場に立った行動・言動ができるよう人権感覚を養うとともに、課題解消に努めるべき管理職員として、本市の人権施策及び人権に関する知識をさらに深めることで、だれもが働きやすい職場環境の実現に資することを目的として、「同和問題を始め、さまざまな人権問題とその関わりについて」をテーマに人権研修を実施した。 ③実績値：参加者数20人、実施回数1回	一般財団法人 大阪府人権協会	現状維持	手話通訳の必要な職員の有無を確認し、必要な職員がいた場合には対応できる体制を整えた。
6 部落差別（同和問題） 17 様々な人権問題	6:部落差別（同和問題）についての理解促進 17:様々な人権問題についての理解促進	人事課 人権政策課	人権研修	①対象：新任主査・主任 ②取組内容：各職員が人権課題について当事者意識をもち、相手の立場に立った行動・言動が当たり前にできるなどの人権感覚を養うことの目的として、新任主査及び新任主任を対象に「同和問題を始め、さまざまな人権問題とその関わりについて」をテーマに人権研修を実施した。 ③実績値：参加者数111人、実施回数3回	一般財団法人 大阪府人権協会	現状維持	手話通訳の必要な職員の有無を確認し、必要に応じて手話通訳を手配した。
6 部落差別（同和問題） 17 様々な人権問題	6:部落差別（同和問題）についての理解促進 17:様々な人権問題についての理解促進	人権政策課	人権啓発等に関する講座・集会等への参加	①対象：市職員 ②取組内容：様々な人権問題を取り上げ、あらゆる差別の撤廃を目指す部落解放・人権夏期講座等の人権団体が主催する講座・集会へ参加した。 ③実績値：部落解放・人権夏期講座、部落解放研究全国集会には、延べ10部署から参加	—	現状維持	さまざまな部署の方が参加できるよう、部署ごとの輪番制で案内している。
6 部落差別（同和問題）	部落差別（同和問題）についての理解促進	支援教育課	枚方市人権教育研究協議会 夏のフィールドワーク・講演会	①対象：枚方市立小中学校園教職員（人権教育担当者） ②取組内容：富田林市を舞台にした「識字」「部落問題」がテーマの絵本「ひらがなにっき」を通して、識字教室の坂本省三さん吉田順子さんの話を聞き、富田林市立多文化共生・人権プラザでフィールドワークを実施した。 ③実績値：—	枚方市人権教育研究協議会	現状維持	
6 部落差別（同和問題） 15 インターネットによる人権侵害 17 様々な人権問題	6:部落差別（同和問題）についての理解促進 15:インターネット上の人权侵害に関する教育・啓発の推進 17:様々な人権問題についての理解促進	支援教育課	枚方市人権教育研究協議会 講演会	①対象：枚方市立小中学校園教職員（人権教育担当者） ②取組内容：部落問題・職業差別といった人権問題の現状を知ることで同和教育の推進を図り、中川洋典さんによる講演会「僕は絵本の中で出会った～絵本の取材の中で見た食肉業と差別～」を実施した。 ③実績値：—	・枚方市人権教育研究協議会 ・特定非営利活動法人 枚方人権まちづくり協会	現状維持	
7 外国人の人権	多文化についての理解促進	観光交流課	職員向け 国際理解講座	①対象：市職員 ②取組内容：日本国内及び枚方市で暮らす外国人の現状について、外国人のための情報発信について研修を実施 ③実績値：44名	公益財団法人 とよなか国際交流協会	現状維持	相談体制の強化のため窓口対応の重要性を伝えた。
8 HIV感染者、ハンセン病回復者及びその家族の人権	HIV感染者・ハンセン病についての理解促進	保健予防課 健康づくり課	枚方市内健康優良企業へのHIV・エイズに関する啓発	①対象：ひらかた健康優良企業 ②取組内容：ひらかた健康優良企業として登録されている、従業員の健康づくりに取り組む企業に、世界エイズデーに合わせHIV・性感染症に関する情報提供をおこなった ③実績値：130社	ひらかた健康優良企業	現状維持	働く世代への啓発の手段として内容を工夫しながら取り組む必要がある。

## 基本方向1. 人権教育の推進 (4) 企業等における人権教育の充実

★：枚方市人権尊重のまちづくり基本計画令和6年度取組実績に掲載している項目 ↓

人権問題	取り組みの方向性	担当課	取組名称	R6年度の取組内容	協働している関係機関等の名称 (基本方向4：関係団体、市民団体等との協働)	今後の方向	人権尊重のまちづくりの観点から 工夫したことや課題など
14 セクシュアルハラスメント、パワーハラスメントなどのハラスメント	ハラスメント防止の啓発推進	人権政策課	枚方事業所人権推進連絡会 会員研修会	①対象：枚方事業所推進連絡会の会員事業所 ②取組内容：セクハラやパワハラ、カスハラなど様々なハラスメントについて、法的観点を踏まえ、人権侵害事象を起こさない、起こらない職場環境の整備が人材確保にもつながるなど、「ハラスメントの未然防止について」をテーマにした研修を実施した。 ③実績値：参加者 13人	枚方事業所人権推進連絡会	現状維持	顧客からの暴言や不当要求（カスタマーハラスメント）が大きな社会問題となる情勢を受け、雇用者は安全配慮義務に基づき、従業員を守らなければならない等について、様々なハラスメント対応に詳しい弁護士を迎えて学習した。
14 セクシュアルハラスメント、パワーハラスメントなどのハラスメント	ハラスメント防止の啓発推進	コンプライアンス推進課	ハラスメント防止研修	①対象：特別職、正職員（入職3年目、係長及び監督、部長等）、任期付職員及び会計年度任用職員等 ②取組内容：職員の意識啓発及びハラスメントの未然防止を図ることを目的にハラスメント防止研修を実施した。 ③実績値：参加人数 446人（内訳：特別職5人、正職員379人、任期付職員等62人）	—	現状維持	・集合研修では出席確認の際に、手話通訳の要否と配慮希望の自由記述欄を設け、受講者の希望に応じた対応を行った。 ・実施会場がエレベーターがない建物の場合は、1階の会議室を確保して研修を実施した。
14 セクシュアルハラスメント、パワーハラスメントなどのハラスメント	ハラスメント防止の啓発推進	上下水道総務課	ハラスメント防止研修	【1】 ①対象：上下水道局内 課長級以上の職員 ②取組内容：ハラスメント防止に関する注意喚起等の説明を行った。 ③実績値：参加者17人  【2】 ①対象：上下水道局内 希望する職員 ②取組内容：職場でのコミュニケーションを見直し、ハラスメントがなく職員一人ひとりが元気に働く職場環境を整えることを目的に、「元気な職場づくりとメンタルヘルス～ハラスメントとコミュニケーション～」をテーマにした研修を行った。 ③実績値：会場参加者41人、Web参加者10人	—	現状維持	手話通訳の希望があった場合には対応できる体制を整えた。
14 セクシュアルハラスメント、パワーハラスメントなどのハラスメント 17 様々な人権問題	14:ハラスメント防止の啓発推進 17:様々な人権問題についての理解促進	市立ひらかた病院総務課	ハラスメント防止研修	①対象：市立ひらかた病院全職員 ②取組内容：ハラスメントの基礎（定義を含む）と実例紹介の講演、弁護士による実際に病院で起こった裁判事例などを学ぶ。 ③実績値：129人	—	現状維持	
17 様々な人権問題	様々な人権問題についての理解促進	人権政策課	枚方市人権擁護推進本部研修	①対象：人権擁護推進本部委員・幹事、市議会議員、市職員 ②取組内容：枚方市人権尊重のまちづくり条例を周知し、職員一人ひとりの人権意識の高揚を図ることを目的に、「人権が守られる社会の課題と展望について～好感・共感・親近感が人権力を育む～」をテーマにした研修を実施した。 ③実績値：会場受講者 49人、録画動画視聴者 約120人	—	現状維持	・手話通訳の希望があった場合には対応できる体制を整えた。 ・研修方法として、自席にて全職員が視聴できるよう、当日研修の録画動画を配信した。 ・講師の日程とエレベーター利用可能な会場確保の調整が難しく課題。
17 様々な人権問題	様々な人権問題についての理解促進	人権政策課	枚方事業所人権推進連絡会 総会研修会	①対象：枚方事業所推進連絡会の会員 ②取組内容：市内の事業所が加入している枚方事業所人権推進連絡会の総会において、企業に求められる社会的責任をテーマにした研修会『『企業の社会的責任と人権』～SDGsとビジネスと人権の実践』を事業者向けに実施した。 ③実績値：参加者 18人	枚方事業所人権推進連絡会	現状維持	・市内事業所には、外国人や育児・介護が必要な人、性的マイノリティなど、多様な人が働いており、雇用者として、お互いに違いを認め、働きやすい職場作りを目指すという観点から、講師と打ち合わせて研修実施した。
17 様々な人権問題	様々な人権問題についての理解促進	教育研修課	教職員研修	①対象：枚方市立小中学校園教職員 ②取組内容：教職員研修計画に基づき、通年で研修（法定研修を含む。）を実施した。 ③実績値：合計19回延べ993名受講	—	現状維持	全ての教職員が人権についての理解に基づいて教育活動に取り組めるよう、人権に関する教職員計画は継続していく必要がある。
17 様々な人権問題	様々な人権問題についての理解促進	市立ひらかた病院総務課	新入職員・異動職員への市立ひらかた病院職員ハンドブックの配布と院長講話	①対象：市立ひらかた病院新入職員及び異動職員 ②取組内容：感染管理、防火・防災について（全職員）、ハンドブックの配布による患者の権利周知と取り組みについての院長講話を実施。 ③実績値：64人	—	現状維持	

## 基本方向1. 人権教育の推進 (5) 参加・体験型学習の充実

★：枚方市人権尊重のまちづくり基本計画令和6年度取組実績に掲載している項目 ↓

人権問題	取り組みの方向性	担当課	取組名称	R6年度の取組内容	協働している関係機関等の名称 (基本方向4：関係団体、市民団体等との協働)	今後の方向	人権尊重のまちづくりの觀点から 工夫したことや課題など
2 子どもの人権	いじめ防止に関する教育の推進	人権政策課	人権の花運動	①対象：小学1年生 ②取組内容：子どもたちが協力して花を育てる通じて、「命の大切さ」や「相手への思いやり」の心をはぐくむことを目的に実施した。 ③実績値：対象校（五常小学校、春日小学校、西牧野小学校）児童 201人	人権啓発活動大阪地域ネットワーク協議会	現状維持	枚方地区人権擁護委員会において、各小学校への担当を2名定めている。事業実施に当たり、も担当教諭等と丁寧に打合せ、植え付け作業を共に行ったり、紙芝居等人権教室を併せて、相談窓口の案内を行い、児童が何かあればSOSを出せるよう心掛けている。
2 子どもの人権	・子どもの権利の啓発推進 ・いじめ防止に関する教育の推進 ・児童虐待の予防・防止 ・暴力の予防に向けた教育・啓発の推進 ・相談・支援体制の充実	人権政策課	市内中学校スマホ人権教室	①対象：生徒 ②取組内容：スマートフォンの利用に関する危険やトラブルを未然に防ぐとともに、SNSや無料通信アプリを使用したいじめなどの人権問題が発生した場合の、人権擁護機関の相談利用について周知を図ることを目的に実施した。 ③実績値：1中学校3学年9クラス493名	・大阪法務局 ・大阪府人権擁護委員連合会	現状維持	枚方地区人権擁護委員会において、各中学校への担当を決めて事前に担当教諭と打ち合わせている。スマホ教室を通じて、相談窓口の案内を行い、生徒が何かあればSOSを出せるよう心掛けている。
2 子どもの人権 4 障害のある人の人権	2: 子どもの権利の啓発推進 ・いじめ防止に関する教育の推進 4:障害についての理解促進	人権政策課	体験型人権教室	①対象：児童 ②取組内容：障害のあるなしに関わらずプレーできるポッチャの体験と、社会福祉協議会によるアイマスク、白杖体験などを実施した。 ③実績値：4小学校8学級286名	・大阪第二人権擁護委員協議会 ・社会福祉法人 枚方市社会福祉協議会	現状維持	枚方地区枚方地区人権擁護委員会において、各小学校への担当を決めて事前に担当教諭や社会福祉協議会と打ち合わせている。児童向け体験型人権教室を通じて、生徒が何かあればSOSを出せるよう心掛けている。
2 子どもの人権	子どもの権利の啓発推進	子ども青少年政策課	子どもを守る条例啓発事業	①対象：枚方まつり来場者 ②取組内容：条例の周知啓発及び子どもの意見表明として『ハロウィンかばちゃんに託すメッセージ&クイズに答えて景品をゲット！』と題して枚方まつりにブースを出展した。また、保護者等の大人には条例の認知度を測るアンケートを実施し、幅広い世代の市民に対し、子どもを守る条例の周知・啓発を行った。 ③実績値：195（大人）+332（子ども）計527人	—	現状維持	アンケートにふりがなをつけ、希望があれば要約筆記対応できるようにした。
2 子どもの人権	子どもの権利の啓発推進	子ども青少年政策課	子どもを守る条例啓発事業	①対象：市民 ②取組内容：条例の周知啓発を目的に、市民が開催する講演会の講師として条例の理念などを広く伝えた。 ③実績値：1回	—	現状維持	より身近に、そして気軽に、本条例の内容を知っていただくために作成した条例説明動画を併せて上映した。
4 障害のある人の人権	障害についての理解促進	文化生涯学習課	夏休みこども教室	①対象：市内小学生 ②取組内容：多様性について理解を深める目的でバラリソーシャル種目である「ポッチャ」を体験。 ③実績値：参加者数6人	—	現状維持	（P.5）
4 障害のある人の人権	障害についての理解促進	スポーツ振興課	スポーツチャレンジフェスタ	①対象：市民（イベントプログラムは小学生） ②取組内容：障害者スポーツの実践を通じて聴覚障害への理解を深め、多様性を学ぶきっかけを作ることを目的とし、トップアスリートとのブライドサッカーフェスティバルなど、障害者スポーツを含めさまざまなスポーツが障害の有無に関わらず楽しめるイベントを実施した。 ③実績値723人	公益財団法人 枚方市スポーツ協会	現状維持	（P.5）
4 障害のある人の人権	障害についての理解促進	スポーツ振興課	トリプルバドミントン交流会	①対象：市民 ②取組内容：障害・年齢・性別等関係なく、「障害者・高齢者・健常者」や「子ども・若者・シニア」など様々なトリプルで行うバドミントン大会を実施した。 ③実績値：129名	公益財団法人 枚方市スポーツ協会	現状維持	
4 障害のある人の人権	障害についての理解促進	障害企画課	枚方市障害者社会参加促進事業 (スポーツ講習会)	①対象：市内在住、在勤、在学の障害者（児）とその家族 ②取組内容：枚方市スポーツ協会への委託により、障害者社会参加促進事業スポーツ講習会を実施した。 ③実績値：参加人数 58人	公益財団法人 枚方市スポーツ協会	現状維持	
4 障害のある人の人権	障害についての理解促進	障害企画課	要約筆記体験講座	①対象18歳以上の枚方市・寝屋川市・交野市の市民 ②取組内容：筆談の必要な聴覚障害及び中途失聴のある方への理解を深め、更に要約筆記の紹介や体験会を実施した。 ③実績値：修了人数 20人	・要約筆記サークル バンビ ・寝屋川市、交野市と共同	現状維持	

## 基本方向2. 人権啓発の推進 (1) 効果的な人権啓発事業の実施

★：枚方市人権尊重のまちづくり基本計画令和6年度取組実績に掲載している項目 ↓

人権問題	取り組みの方向性	担当課	取組名称	R6年度の取組内容	協働している関係機関等の名称 (基本方向4：関係団体、市民団体等との協働)	今後の方向	人権尊重のまちづくりの觀点から 工夫したことや課題など
1 女性の人権	男女共同参画の視点を持った機会の充実	危機管理政策課	枚方市防災会議	①対象：枚方市防災会議委員（所属する機関・団体等を含む） ②取組内容：枚方市防災会議委員の任期満了や人事異動等に伴う後任の推薦依頼に際し、女性の積極的な推薦を呼び掛け、女性委員比率の向上を図った。 ③実績値：女性委員比率13%（39人中5人）	—	現状維持	法令で定められた機関・団体から委員の推薦を得る場合、実質的に充て職となり、女性委員比率の向上が困難なケースがある。
1 女性の人権	男女共同参画等への理解促進	人権政策課	女性に対する暴力をなくす運動期間の平和の鐘カリヨン（ヒラリヨン）のバーブライトアップ	①対象：市民 ②取組内容：女性に対する暴力をなくす運動期間（11月12日～25日）に合わせ、平和の鐘カリヨン（ヒラリヨン）のバーブライトアップを実施。 ③実績値：2回	—	現状維持	
1 女性の人権	・男女共同参画等への理解促進 ・男女共同参画の視点を持った機会の充実	人権政策課	男女共同参画啓発講座【再掲】	①対象：市民 ②取組内容：性別にかかわりなく誰もが個人として尊重される男女共同参画社会の実現に向けた啓発事業として、母娘関係を学ぶ講座、女性のためのセルフケアセミナー講座、ペーパークラフト講座や映画「ミッション・マングル」鑑成会等を実施した。 ③実績値：参加者数480人	—	現状維持	
2 子どもの人権 17 様々な人権問題	2:子どもの権利の啓発推進 17:様々な人権問題についての理解促進	人権政策課	人権文化セミナー	①対象：市民 ②取組内容：広く市民に「人権の大切さ」を学ぶ機会を提供するため、作家・詩人の寮 美千子さんによる講演会「『あふれたのはやしさだった』～奈良少年刑務所 絵本と詩の教室～」を実施した。 ③実績値：参加者84人	特定非営利活動法人 枚方人権まちづくり協会	現状維持	補聴システム、点訳資料を用意し、手話通訳、要約筆記及び保育の希望があった場合には対応できる体制を整えた。
2 子どもの人権	・子どもの権利の啓発推進 ・相談・支援体制の充実	子ども青少年政策課	市民啓発事業	①対象：市民 ②取組内容：お笑い芸人 ゴルゴ松本 氏を講師に招き、「命の授業～心を変える言葉の力～」をテーマに講演会を開催した。 ③実績値：一般963名、青少年育成指導員78名 計1,041名	枚方市青少年育成指導員連絡協議会	現状維持	手話通訳や車いす席の希望があった場合に対応できる体制を整えた。
4 障害のある人の人権	障害についての理解促進	障害支援課	枚方市障害者差別解消支援地域協議会の開催	①対象：障害者差別解消支援地域協議会委員 ②取組内容：協議会を開催し、障害者差別解消に関する研修などの取組の報告をはじめ、相談事例に関する意見交換や、改正障害者差別解消法の施行に伴う民間事業者への合理的配慮の義務化について情報共有を実施した。 ③実績値：出席者20人	・特定非営利活動法人 パーソナルサポートひらかた ・社会福祉法人 枚方市社会福祉協議会 ・特定非営利活動法人 陽だまりの会 ・枚方市障害福祉サービス事業者連絡会 等	現状維持	視覚障害の委員については、会場まで迷わないよう職員が付き添って案内し、知的障害の委員については、資料にひらがなのルビをふる等の合理的配慮に努めた。
4 障害のある人の人権	虐待防止の啓発推進	障害支援課	枚方市障害者虐待防止関係機関会議の開催 障害福祉サービス事業者への周知、啓発	①対象：障害者虐待防止関係機関会議構成員 ②取組内容：協議会を開催し、障害者虐待への対応状況の説明や虐待事例として認定したケースに関する意見交換等を実施した。引き続き虐待事例に対する関係機関との連携、協力を依頼した。また、国や府からの障害者虐待に関する情報については、適宜事業者への周知等を行った。 ③実績値：出席者22人	・特定非営利活動法人 パーソナルサポートひらかた ・社会福祉法人 枚方市社会福祉協議会 ・特定非営利活動法人 陽だまりの会 ・枚方市障害福祉サービス事業者連絡会 等	現状維持	限られた時間の中で、数多くの虐待対応を検証することは困難であるため、別途検証の場を新たに設定していく必要性が生じている。
4 障害のある人の人権	障害についての理解促進	障害支援課	大阪ふれあいキャンペーン	①対象：市民 ②取組内容：障害者週間にあわせて、啓発用活動を実施した。 ③実績値：クリアファイル270枚、折り紙1,000枚を配布	大阪ふれあいキャンペーン実行委員会	現状維持	
4 障害のある人の人権	障害についての理解促進	障害企画課	手話言語の国際デーの平和の鐘カリヨン（ヒラリヨン）のブルーライトアップ	①対象：市民 ②取組内容：「手話言語国際デー」である9月23日に手話言語への意識を高め、また手話言語に対する理解の普及を目的に、ニッペパーク岡東中央の平和の鐘カリヨン（ヒラリヨン）を青色にライトアップを実施した。 ③実績値：実施日 令和6年9月23日	—	現状維持	
7 外国人の人権	多文化についての理解促進	教育政策課	社会教育（人権）講座	①対象：市民 ②取組内容：地域には様々な背景を持った外国人がいるということに気づき、外国人が孤立することなく、地域の一員として、安心して暮らしていくようにするためにどうすればいいのか考える機会を提供することを目的に、「お隣さんは外国人～外国人とともにある社会～」をテーマにした講演会を実施した。 ③実績値：参加者数32人	—	現状維持	手話通訳や保育利用の希望があった場合は対応できる体制を整えた。また、講座開催のチラシ配布・配架やSNSの活用等、積極的な周知活動を行った。
7 外国人の人権	多文化についての理解促進	中央図書館	多言語で楽しむおはなし会	①対象：市民 ②取組内容：英語とオランダ語による絵本の読み聞かせと、アメリカとオランダの紹介 ③実績値：参加者数34人	—	現状維持	日本語以外の様々な母語の絵本の読み聞かせや国・文化の紹介ができる講師をみつけることが課題である。令和6年度は関西外国语大学に依頼して、留学生を紹介していただいた。
9 新たなウイルス等感染症感染者や回復者並びに医療従事者等やその家族の人権	感染症についての理解促進	保健予防課	塩野義製薬株式会社との感染症対策の支援・啓発に係る連携協定	①対象：市民 ②取組内容：感染症治療薬の適正使用を目的とした「感染症のおくすり」リーフレットを作成。枚方市薬剤師会と覚書を締結し、市内全薬局にリーフレットを配布。リーフレットは保健所や健康づくり課窓口に設置し、ホームページに掲載。 ③実績値：約2,500部	塩野義製薬株式会社	現状維持	専門用語はできるだけ使用せず、市民にわかりやすい表現となるように内容を検討した。また、おくすり手帳とセットで保管できるようにA6サイズとした。

★  
(P.7)★  
(P.7)

## 基本方向2. 人権啓発の推進 (1) 効果的な人権啓発事業の実施

★：枚方市人権尊重のまちづくり基本計画令和6年度取組実績に掲載している項目 ↓

人権問題	取り組みの方向性	担当課	取組名称	R6年度の取組内容	協働している関係機関等の名称 (基本方向4：関係団体、市民団体等との協働)	今後の方向	人権尊重のまちづくりの觀点から 工夫したことや課題など
12 性的マイノリティ (LGBT等) の人権	性の多様性についての理解促進	人権政策課	映画上映会 ウィルdeシネマ	①対象：市民 ②取組内容：性の多様性に対する理解促進を図るため、男女共生フロア・ウィルの映画上映会「ウィルdeシネマ」において、ドラッグクイーンとして息子が経営していたゲイバーを再建することになった母の希望と友情を描く映画「ステージ・マザー」を上映し、啓発に取り組んだ。 ③実績値：174人	—	現状維持	
15 インターネットによる 人権侵害	インターネット上の人権侵害に関する 教育・啓発の推進	人権政策課	人権週間事業	①対象：市民 ②取組内容：広く市民の人権意識の高揚を呼びかける人権週間事業の一環として、NPO法人リメンバーハナ代表理事の木村 韶子さんによる講演会「『ヤサシイハナ ヲ サカセマショウ』～ネットの誹謗中傷をなくしたい～」を開催した。 ③実績値：参加者76人	特定非営利活動法人 枚方人権まちづくり協会	現状維持	
17 様々な人権問題	様々な人権問題についての理解促進	人権政策課	憲法のつどい 講演会・憲法前文朗読動画の上映	①対象：市民 ②取組内容：憲法の理念を広く市民に啓発する取組として、人権や平和の大切さを考えてもらうことを目的に、絵本作家の長谷川義史さんによる絵本ライブ「絵本でこどもたちにつたえたいこと」を実施した。また、枚方第二小学校児童による日本国憲法前文の朗読動画の上映も行った。 ③実績値：参加者 195人	—	現状維持	補聴システム、点訳資料を用意し、手話通訳、要約筆記及び保育の希望があった場合には対応できる体制を整えた。
17 様々な人権問題	様々な人権問題についての理解促進	人権政策課	北朝鮮人権侵害問題啓発週間の平和の鐘 カリヨン（ヒラリヨン）のブルーライトアップ	①対象：市民 ②取組内容：北朝鮮人権侵害問題啓発週間（12月10日～16日）に合わせ、平和の鐘カリヨン（ヒラリヨン）のブルーライトアップを行った。 ③実績値：実施日 令和6年12月11日	—	現状維持	ライトアップとともに、街頭啓発を実施し関心を寄せてもらえるように心掛けた。
17 様々な人権問題	様々な人権問題についての理解促進	人権政策課	北朝鮮人権侵害問題啓発週間のデジタル サイネージ放映	①対象：市民 ②取組内容：北朝鮮人権侵害問題啓発週間（12月10日～16日）に合わせ、府で作成した啓発用デジタルサイネージ画像の放映を行った。 ③実績値：本庁舎内 6か所、庁舎外 10か所	大阪府人権局人権企画課	現状維持	庁舎外に設置したモニターで放映することで、市役所や枚方市駅周辺に来ない方にも関心を寄せてもらえるように心掛けた。
17 様々な人権問題	様々な人権問題についての理解促進	人権政策課	人権週間街頭啓発	①対象：市民 ②取組内容：12月の人権週間（12月4日～10日）に合わせ、枚方市駅・樟葉駅・長尾駅で街頭啓発を実施し、啓発グッズやリーフレットの配布などを行った。 ③実績値：配布物品数 800セット	・特定非営利活動法人 枚方人権まちづくり協会 ・枚方地区人権擁護委員会 ・枚方事業所人権推進連絡会	現状維持	人権週間の意義について、市、特定非営利活動法人、事業所が連携して広く啓発を図るようにした。
17 様々な人権問題	様々な人権問題についての理解促進	人権政策課	拉致問題を考えるパネル展	①対象：市民 ②取組内容：北朝鮮人権侵害問題啓発週間事業の一環として、啓発パネルの展示や日本人拉致問題啓発アニメ「めぐみ」DVDの上映を行った。 ③実績値：実施日 令和6年12月6日	特定非営利活動法人 枚方人権まちづくり協会	現状維持	同時上映のDVDには字幕を付けるなど、拉致問題に関心を寄せてもらえるにした。

★  
(P.7)★  
(P.12)

## 基本方向2. 人権啓発の推進 (2) 様々な媒体による学習機会の拡充と人権啓発の推進

★：枚方市人権尊重のまちづくり基本計画令和6年度取組実績に掲載している項目 ↓

人権問題	取り組みの方向性	担当課	取組名称	R6年度の取組内容	協働している関係機関等の名称 (基本方向4：関係団体、市民団体等との協働)	今後の方向	人権尊重のまちづくりの觀点から 工夫したことや課題など
1 女性の人権 2 子どもの人権 4 障害のある人の人権 6 部落差別（同和問題） 7 外国人の人権 10 犯罪被害者やその家族等の 人権 13 職業や雇用をめぐる人権 15 インターネットによる 人権侵害 17 様々な人権問題	1: 男女共同参画等への理解促進 ・DV防止に関する理解促進 2: 子どもの権利の啓発推進 ・いじめ防止に関する教育の推進 4: 障害についての理解促進 6: 部落差別（同和問題）についての 理解促進 7: ヘイトスピーチに対する啓発推進 10: 犯罪被害者等の人権についての 理解促進 13: 職業や雇用についての環境づくり の促進 15: インターネット上の 人権侵害に関する教育・啓発の推進 17: 様々な人権問題についての理解 促進	人権政策課	広報ひらかたに啓発コラムや記事の掲載	①対象：市民 ②取組内容：人権問題が身近にあることを周知するため、広報ひらかたに「ひこぼしくんの人権コラム」を3回掲載した。また、各人権問題の啓発月間に各人権問題を周知するため、広報ひらかたに「ひこぼしくんの人権コラム」を3回掲載した。 ・ひこぼしくんの人権コラム『「男は仕事、女は家庭？」無意識の固定的性別役割分担意識』、『心のバリアフリー？「バリア（障壁）」って？』、『犯罪被害者家族の気持ち』 ・広報記事『6月23日～29日は男女共同参画週間』、『しない！させない！身元調査』、『6月は「就職差別撤廃月間』』、『『こどもの人権110番』、『いじめ未然防止啓発月間』、『部落差別につながる調査の依頼は許されません』、『女性に対する暴力をなくす運動』、『ヘイトスピーチゆるさへん！』、『12月4日～10日は人権週間』、『12月10日～16日は北朝鮮人権侵害問題啓発週間』	—	現状維持	令和4年6月に策定した「枚方市人権尊重のまちづくり基本計画」に取り上げたさまざまな人権課題をわかりやすく市民に伝えるため、コラム形式で広報ひらかたで紹介した。
2 子どもの人権	児童虐待の予防・防止	まるっとこどもセンター	子育て支援講座	①対象：枚方市民 ②取組内容：児童虐待防止の周知・啓発を目的に「子どものココロとカラダを守るために」をテーマに、子育て支援講座を実施した。 ③実績値：参加者数22人	—	現状維持	子育て中の方が参加しやすいように子どもの預かりを可能とした。 視覚障害と聴覚障害が重複している方の参加があり、文字起こしアプリを活用して大きな文字で講師の発言を手元のタブレットに映し出す工夫を行った。また意見交換ではタブレットによる筆談を実施した。
4 障害のある人の人権	・障害についての理解促進 ・バリアフリー化の推進	政策推進課	ひらかた万博PRイベントにおける バリアフリートイレの導入	①対象：イベント来場者 ②取組内容：市主催イベントにおいて、車いす対応仮設トイレを2基設置するとともに、トヨタ自動車との連携で移動型バリアフリートイレ「モバイルトイレ」を設置することで、バリアフリー化の啓発を行った。 ③実績値：約6,000人（イベント来場者）	トヨタ自動車株式会社	終了 (完了)	令和6年度に実施したイベントの会場が既設トイレの少ない淀川河川公園枚方地区であることから、仮設トイレ等の設置を臨時に行なった。 (令和7年度については、既設トイレが設けられた別会場でイベントを実施予定)
5 こころの病（うつ病など）に関する人権	相談・支援体制の整備・充実	保健医療課	自殺予防週間および自殺対策強化月間の 普及啓発	①対象：市民 ②取組内容：自殺予防週間（9月10日～16日）、および自殺対策強化月間（3月）に合わせて、広報、デジタルサイネージ、ホームページ、SNS発信にて普及啓発を実施。いのちのホットライン等、相談窓口の周知。 ③実績値：関係各所にてポスター掲示を依頼	—	現状維持	
8 HIV感染者、ハンセン病回復者及びその家族の 人権	HIV感染者・ハンセン病についての理 解促進	健康福祉政策課	ハンセン病問題解決に係る啓発	①対象：市民 ②取組内容：ホームページで周知・啓発の実施や、関係課の窓口へのリーフレットの配架のほか、枚方市健康・医療・福祉フェスティバルにおいても周知・啓発を行った。 ③実績値：枚方市健康・医療・福祉フェスティバルにおけるブース来場者数388人	大阪府	現状維持	
8 HIV感染者、ハンセン病回復者及びその家族の 人権	HIV感染者・ハンセン病についての理 解促進	保健予防課	HIV検査普及週間・世界エイズデーに合わせ た京阪枚方市駅でのデジタルサイネージ	①対象：枚方市駅を利用する市民 ②取組内容：HIV検査普及週間および世界エイズデーの時期に合わせて枚方市駅中央改札口にてポスター、デジタルサイネージにて啓発を実施。 ③実績値：5/27～6/2 ポスター、11/25～12/8 デジタルサイネージ	株式会社 京阪エージェンシー	現状維持	デジタルサイネージは画面が固定ではないため目立たないとの意見があり、令和6年度はHIV検査普及週間ではポスターによる啓発を実施し、枚方市駅を利用する幅広い世代の方に啓発ができた。
8 HIV感染者、ハンセン病回復者及びその家族の 人権	HIV感染者・ハンセン病についての理 解促進	保健予防課	世界エイズデーの啓発	①対象：市民、市職員 ②取組内容：広報ひらかた、SNS、市職員用掲示板、庁舎内外のデジタルサイネージ、ホームページを用いてHIV・エイズの知識・検査の普及を行った。 ③実績値：広報ひらかた12月号に掲載、12月市公式SNSにて発信、12月市職員向けに掲示板で発信、11/25～12/8庁舎内外デジタルサイネージ掲載。	—	現状維持	・ホームページでは世界エイズデーの啓発と合わせて、大阪府・政令中核市で取り組んでいる啓発活動（大阪城ライトアップ等）についても周知した。
13 職業や雇用をめぐる 人権	職業や雇用についての環境づくりの促 進	人権政策課	就職差別撤廃街頭啓発	①対象：市民、枚方事業所推進連絡会の会員 ②取組内容：6月の就職差別撤廃啓発月間に合わせ、枚方市駅周辺で街頭啓発を実施し、啓発グッズの配布を行った。また、枚方事業所人権推進連絡会の会員事業所に啓発リーフレットを配付した。 ③実績値：配布品数 500個	・特定非営利活動法人 枚方人権まちづくり協会 ・枚方事業所人権推進連絡会	現状維持	就職差別の撤廃について、雇用主（事業所）、市、府、国が連携して広く啓発を図るようにした。
16 ひきこもりの状態にある 人の人権	ひきこもりに関する理解促進	まるっとこどもセンター	子ども・若者支援講演会	①対象：ひきこもり等の子ども・若者本人とその家族、支援者、子ども・若者支援に関心のある方。 ②取組内容：ひきこもり等の状態にある子ども・若者の理解を深め、支援について周知・啓発するため「ゲームやネットとのほどよいつきあい方～思春期・青年期の子ども・若者がみている世界を知ろう～」をテーマに市民講座を実施。会場での開催と動画による配信を行った。 ③実績値：参加者数 会場開催29人、動画申込105人、動画視聴回数124回	—	現状維持	さまざまな事情で当日会場に来られない方も参加できるよう、後日動画による配信も行った。

## 基本方向3. 人権相談・支援体制の充実 (1) 人権相談

★：枚方市人権尊重のまちづくり基本計画令和6年度取組実績に掲載している項目 ↓

人権問題	取り組みの方向性	担当課	取組名称	R6年度の取組内容	協働している関係機関等の名称 (基本方向4：関係団体、市民団体等との協働)	今後の方向	人権尊重のまちづくりの觀点から 工夫したことや課題など
1 女性の人権	男女共同参画の視点を持った機会の充実	人権政策課	女性相談・男性相談	①対象：市民 ②取組内容：男女共生フロア・ウィルにおいて、女性を対象に電話相談、面接相談、法律相談を実施した。また、相談につながりにくい男性の利便性向上に向け、時間帯等に配慮した男性のための電話相談を実施した。 ③実績値：電話相談483件、面接相談328件、法律相談95件、男性相談(電話)37件	特定非営利活動法人 枚方人権まちづくり協会	現状維持	
1 女性の人権	DV防止に関する理解促進	人権政策課	枚方市配偶者暴力相談支援センター「ひらかたDV相談室」	①対象：配偶者やパートナーから様々な暴力等を受けて悩んでいる方 ②取組内容：DV被害者の専門相談窓口である枚方市配偶者暴力相談支援センター「ひらかたDV相談室」において関係機関と連携し、DVの早期発見、相談から安全確保、自立支援まで、被害者への切れ目がない支援を行った。 ③実績値：1,264件	—	現状維持	
2 子どもの人権	相談・支援体制の充実	人権政策課	いじめ相談窓口	①対象：枚方市内の小中学校児童生徒及びその保護者 ②取組内容：児童・生徒へお手紙相談用紙を配布し、電話や手紙等にて相談を実施した。相談者に寄り添った傾聴や助言を行い、相談者が希望した場合は、学校での面談等も行った。必要に応じ、事案について学校や教育委員会等の関係機関と情報共有を行なながら対応した。 ③実績値：相談者延べ110件	—	現状維持	手紙相談において、学齢別に3パターンの用紙を作成し、それぞれ使用する言葉やぶりがなの有無などを工夫した。
1 女性の人権 2 子どもの人権 5 こころの病（うつ病など）に関する人権	1:男女共同参画等への理解促進 2:相談・支援体制の充実 5:こころの病（うつ病など）についての理解促進 ・相談・支援体制の整備・充実	まるっとこどもセンター	妊婦オンライン相談	①対象：妊婦またはその家族 ②取組内容：妊娠経過や産後に関する不安や悩み等の相談をオンラインにて実施した。 ③実績値：オンライン面談実施件数 90件	—	現状維持	・相談実施時は、相談者のプライバシーに配慮し対応した。 ・必要に応じて保健師や助産師による訪問などに繋ぎ、産後も継続した支援を行った。
2 子どもの人権	相談・支援体制の充実	まるっとこどもセンター	ひとり親家庭応援ガイド・LINE相談	①対象：ひとり親の方、これからひとり親になるかもしれない方 ②取組内容：簡単な質問に答えるだけで家庭の状況に応じた支援制度や手続きが検索できる「ひとり親家庭応援ガイド」及びひとり親家庭相談支援センターの相談員に直接LINEで悩みを相談できる「ひとり親相談LINE」にて相談受付 ③実績値：ひとり親相談LINE利用件数 183件、ひとり親家庭応援ガイド利用件数 1,111件	—	現状維持	いつもでも情報収集や相談ができる機会の確保に努めた。
2 子どもの人権	相談・支援体制の充実	まるっとこどもセンター	ひとり親家庭日曜日の特別相談	①対象：ひとり親の方、これからひとり親になるかもしれない方 ②取組内容：平日に来所することが難しい家庭のために、8月に日曜日の相談窓口を開催。 ③実績値：開催回数1回	—	現状維持	平日に参加できないひとり親の方のために休日に開催した。
2 子どもの人権	相談・支援体制の充実	児童生徒課 まるっとこどもセンター	子ども相談チャットアプリ「ぼーち」を活用した子どものSNS相談事業	【気持ちの可視化】 ①対象：市立小中学校の児童・生徒 ②取組内容：一人一台配付されているタブレット端末で、その日の気持ちを選択し、登録し、児童・生徒による日々の気持ちの振り返り等。教職員が視覚化された児童・生徒の心情の変化を把握し、各々に応じた支援の実施等。 ③実績値：市立小中学校の全児童・生徒  【SNS相談】 ①対象：市立小中学校の児童・生徒ならびに枚方市内に在住、在学、在勤している18歳以下の子ども ②取組内容：専門の相談員による相談対応 ③実績値：相談件数 9,161件	—	現状維持	・気軽に相談できるよう匿名での相談を実施し、いつもでも相談ができる機会の確保に努めた。 ・教育委員会としては、各学校にささいな変化を見逃さない体制づくりを行うことを指示しており、そのための効率的なツールとともに、学校に伝えた。
2 子どもの人権 4 障害のある人の人権	2:相談・支援体制の充実 4:相談・支援体制の整備・充実	市立ひらかた子ども発達支援センター	保育所・通所施設巡回相談	①対象：障害や発達上支援の必要がある児やその保護者 ②取組内容：心理職による保育所、幼稚園等への巡回相談・保育相談等を行う。 ③実績値：保育所、幼稚園等への巡回相談・保育相談を延べ1,408件、市立ひらかた子ども発達支援センターでの発達相談を192件実施した。	—	現状維持	
2 子どもの人権 16 ひきこもりの状態にある人の人権	2:相談・支援体制の充実 16:相談・支援体制の充実	子ども青少年政策課	青少年相談	①対象：おおむね26歳までの青少年及びその保護者等。 ②取組内容：いじめ、不登校、ひきこもり、中途退学、人間関係等の青少年相談全般。早期解決に向けて専門の相談員が対応する。 ③実績値：面接相談36件 電話相談22件 計58件	—	現状維持	事前約定だが緊急を要する場合は、相談枠のある場合、相談員と連携しながら本人、もしくは保護者対応を行い早期解決へ向けて取り組めた。引き続き、予約枠の空きがあれば同様に臨機応変の対応が求められる。
3 高齢者の人権	高齢者や認知症についての理解促進	健康福祉政策課	高齢者見守り110番事業	①対象：高齢者（要援護者）の見守り活動「高齢者見守り110番」への協力業者 ②取組内容：支援を必要とする高齢者を早期に発見し相談につなげるため、地域包括支援センターが中心となり各協力店舗とのネットワークにより連携し、取り組んだ。 ③実績値：協力事業社累計数：884社	地域包括支援センター	現状維持	
4 障害のある人の人権	相談・支援体制の整備・充実	障害企画課	障害者相談支援事業	①対象：相談を希望する市民（保護者、障害者、障害児） ②取組内容：障害のある人やその家族に対して、障害福祉サービスの利用援助、専門機関等の情報提供及び権利擁護などを行った。 ③実績値：事業所 市内7カ所	市内7カ所の事業所	現状維持	
5 こころの病（うつ病など）に関する人権	相談・支援体制の整備・充実	保健医療課	こころの健康相談	①対象：市民 ②取組内容：こころの健康に関する相談について、電話、面接、訪問等で支援を実施。 ③実績値：延べ4,963件	—	現状維持	

★  
(P.9)★  
(P.9)★  
(P.9)

## 基本方向3. 人権相談・支援体制の充実 (1) 人権相談

★：枚方市人権尊重のまちづくり基本計画令和6年度取組実績に掲載している項目 ↓

人権問題	取り組みの方向性	担当課	取組名称	R6年度の取組内容	協働している関係機関等の名称 (基本方向4：関係団体、市民団体等との協働)	今後の方向	人権尊重のまちづくりの観点から 工夫したことや課題など
5 こころの病（うつ病など）に関する人権	相談・支援体制の整備・充実	障害企画課	こころの電話相談	①対象：心に悩みのある市民 ②取組内容：心に悩みのある人への電話相談を行った。 ③実績値：件数 3,279件 開所日数 363日	社会福祉法人 枚方市社会福祉協議会	現状維持	
7 外国人の人権	相談・支援体制の整備・充実	観光交流課	外国人のための1日相談会	①対象：外国人、外国にルーツのある人、外国人から相談を受けることのある人、外国人労働者を雇用する企業 ②取組内容：外国人が日本の生活の中で抱える問題を、多言語で相談できる場を提供するため、公益財団法人 大阪府国際交流財団（OFIX）の「外国人住民向け一日相談会共同事業」を活用し、相談会を開催 ③実績値：7件	公益財団法人 大阪府国際交流財団	現状維持	より広く周知を行うため、多くの在住外国人が集まる多文化フェスティバルと同時開催を行った。
11 ホームレスの人権	相談・支援体制の整備・充実	健康福祉総合相談課	ホームレス巡回相談指導事業	①対象：ホームレス状態にある方 ②取組内容：対象者の巡回相談を実施し、健康や生活状況を見守りながら、医療機関の紹介、仕事探しのお手伝い、借金問題の相談、生活保護等各種制度活用に関する助言等、ホームレス状態からの脱却に向けた相談・支援を実施。 ③実績値：なし	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会	現状維持	対象者の人権が配慮されるよう、あらゆる観点から支援している。
12 性的マイノリティ（LGBT等）の人権	相談・支援体制の整備・充実	人権政策課	LGBTQ+電話相談	①対象：LGBTQ+当事者や家族など ②取組内容：LGBTなどの性的マイノリティに関する専門電話相談を月1回実施。 ③実績値：13件	特定非営利活動法人 QWRC	現状維持	
14 セクシュアルハラスメント、パワーハラスメントなどのハラスメント	相談・支援体制の整備・充実	コンプライアンス推進課	ハラスメント苦情相談制度の運営	①対象：全職員 ②取組内容：すべての職員が個人として尊重され、互いに信頼し合い、安心して働く職場環境づくりを目的に、ハラスメント苦情相談員の配置及び外部相談窓口の設置により、ハラスメント苦情相談を受け付け、解決に向けた対応を行った。 ③実績値：相談件数等は非公開	・ きっかけ法律事務所 ・ ウィメンズカウンセリング京都	現状維持	事案ごとに相談者の希望に沿った対応を行った。
16 ひきこもりの状態にある人の人権	相談・支援体制の整備・充実	健康福祉総合相談課	生活困窮者自立相談支援機関におけるひきこもり相談	①対象：全ての世帯 ②取組内容：全ての世帯を対象に、ひきこもり状態にある方やその家族等からの相談を確実に受けとめ、必要に応じて関係機関や窓口と連携し、支援に関する情報の共有を行った。 ③実績値：不明	ひきこもり等子ども・若者相談支援センター	現状維持	対象者の人権が配慮されるよう、あらゆる観点から支援している。
16 ひきこもりの状態にある人の人権	相談・支援体制の充実	まるっとこどもセンター	市民向け当事者会	①対象：ひきこもり状態であったり、対人関係の難しさを感じているなど、さまざまな生きづらさを抱えている女性 ②取組内容：【第1部】ひきこもり経験者の「体験談トーク」、【第2部】当事者・経験者のみのグループトーク ③実績値：参加者数【第1部】36人、【第2部】23人	—	現状維持	参加者が安心して交流できる機会とするため、事前申し込みなし、途中参加・退室ありとし、休憩スペースを設置するなど会場の雰囲気づくりなどにも配慮した。
17 様々な人権問題	様々な人権問題についての理解促進	人権政策課	人権擁護委員による人権相談	①対象：市民 ②取組内容：毎週月曜日9時～12時で人権擁護委員による人権相談を実施した。また、6月と12月には特設相談窓口を設けた。 ③実績値：実施件数43回	枚方地区人権擁護委員会	現状維持	毎週月曜日の定例相談は広聴相談課にて、特設相談は枚方市駅周辺で行うなど、市民に身近な相談場所として実施している。
17 様々な人権問題	様々な人権問題についての理解促進	人権政策課	人権なんでも相談	①対象：市民 ②取組内容：人権相談事業を特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会に委託し、市民からの人権に関する相談に応じた。人権侵害を受け、又はその恐れがある場合、相談内容に応じて、助言及び情報提供を行うとともに、自ら問題解決できるよう支援を行った。 ③実績値：相談件数 386件	特定非営利活動法人 枚方人権まちづくり協会	現状維持	電話や面談だけでなく、メールやFaxによる相談も受け付け、相談内容に応じて関係機関につなぐようにしている。

★  
(P.9)

## 基本方向3. 人権相談・支援体制の充実 (2) 支援体制

★：枚方市人権尊重のまちづくり基本計画令和6年度取組実績に掲載している項目 ↓

人権問題	取り組みの方向性	担当課	取組名称	R6年度の取組内容	協働している関係機関等の名称 (基本方向4：関係団体、市民団体等との協働)	今後の方向	人権尊重のまちづくりの觀点から 工夫したことや課題など
1 女性の人権	被害者支援体制の充実	人権政策課	DV被害から回復するための教育プログラム	①対象：枚方市配偶者暴力相談支援センターで相談を受理したDV被害者 ②取組内容：DV被害者を対象に、DV被害から回復するための教育プログラム「わがままステーション」を実施。 ③実績値：23人	—	現状維持	
1 女性の人権	男女共同参画等への理解促進	人権政策課	生理用品の無償配置	①対象：女性 ②取組内容：身体的性差への理解促進を図るとともに、その性差を踏まえ女性の負担軽減を目的として、市役所庁舎等での生理用品を無償配置した。 ③実績値：市公共施設34施設	—	現状維持	
1 女性の人権 2 子どもの人権 3 高齢者の人権 4 障害のある人の人権 9 新たなウイルス等感染症感染者や回復者並びに医療従事者等やその家族の人権	1:被害者支援体制の充実 2:相談・支援体制の充実 3:相談・支援体制の充実 4:相談・支援体制の整備・充実 9:相談・支援体制の整備・充実	危機管理対策推進課	要配慮者が安心して避難生活ができる避難所運営	①対象：要配慮者 ②取組内容：要配慮者が安心して避難生活が送れるように、簡易ベッド・パーティションを第1次避難所に配備した。 ③実績値：第1次避難所への配備率100%（52箇所中52箇所）	—	現状維持	★ (P.11)
2 子どもの人権	子どもの権利の啓発推進	健康福祉政策課	ひらかたポイントによる子ども食堂への寄附	①対象：子ども青少年政策課が取組む「子どもの居場所づくり（「子ども食堂」）助成」の補助団体のうち、ひらかたポイントの寄附を受け入れている団体 ②取組内容：ひらかたポイント利用者がひらかたポイント(1ポイント1円)を子ども食堂に寄付できるよう、システムの構築を行った。 ③実績値：令和6年度のひらかたポイント利用者からの寄附総額：102,696ポイント	—	現状維持	ひらかたポイント利用者が支援したい意思を持っていても、子ども食堂がひらかたポイントの寄付を受け入れていないといった事案もあることから、寄付受け入れ団体数の拡充を図りたい。
2 子どもの人権	相談・支援体制の充実	子ども青少年政策課	子どもの居場所づくり（「子ども食堂」）助成	①対象：食事の提供により子どもたちを見守る活動（いわゆる「子ども食堂」）に取り組む団体 ②取組内容：28団体（トライアル1団体含む）に対し、補助金を交付した。 ③実績値：実施回数 522回（トライアル5回含む）、1回開催あたりの子どもの平均参加者数 45.2人（トライアルは23.8人）	—	現状維持	
2 子どもの人権	児童虐待の予防・防止	まるっとこどもセンター	乳児家庭全戸訪問事業	①対象：生後4か月までの乳児のいる全ての家庭 ②取組内容：保健師、助産師により家庭訪問を行い、子育てに関する不安や悩み等に対応し、また子育てに関する様々な情報提供を行う。 ③実績値：2,428件	—	現状維持	
2 子どもの人権	相談・支援体制の充実	私立保育幼稚園課	医療的ケア児保育支援事業費補助	①対象：私立保育所（園） ②取組内容：日常的に医療的ケアを必要とし、保護者の就労などにより保育が必要な児童の受け入れを促進するための補助を行った。 ③実績値：2施設において計2人	・私立保育所（園） ・認定こども園 ・小規模保育事業実施施設	現状維持	医療的ケア児を受け入れた施設に対し、看護師等を配置した際の人員費に係る補助を行った。 令和4年度に策定した医療的ケア児の受け入れに関するガイドラインを基に、児童受入れに関する検討会議を開催し、外部有識者の意見も踏まえながら入所可否の検討を行った。
2 子どもの人権	相談・支援体制の充実	私立保育幼稚園課	ファミリーサポートセンター事業	①対象：子育て家庭 ②取組内容：子どもの送迎や預かりなど、子育ての援助を受けたい人（依頼会員）と援助を行いたい人（提供会員）が会員となり、地域で有償の相互援助活動を行った。 ③実績値：依頼会員：3,249人 提供会員：386人 両方会員：84人 相互活動件数：6,736件	ファミリーサポートセンター	現状維持	子育て家庭が依頼会員となるにはファミリーサポートセンターでの対面での会員登録が必要だが、市内のどの地域に住む家庭でも登録がしやすいよう生涯学習市民センターなど市内各地で出張登録会を開催した。
2 子どもの人権	相談・支援体制の充実	私立保育幼稚園課 公立保育幼稚園課	病児保育事業	①対象：保育所（園）等や一時預かり事業を利用している児童 ②取組内容：病気のため保育所（園）等を休まなければならない時に、医療機関に併設した保育室で一時的に保育を行った。 ③実績値：1施設（公立のみ） 利用者数：706人 3施設（私立のみ） 利用者数：2,437人	・保坂小児クリニック（くるみ） ・田辺こどもクリニック（ピッコロケアルーム） ・にしだ小児クリニック（クオレ） ・市立ひらかた病院（枚方市病児保育室）	現状維持	保育所等を利用している児童が病気のために保育所等を休まなければならない場合に、医療機関に併設した保育室で一時的に保育することで、児童の体調に関わらず保育の提供を行っている。
2 子どもの人権	相談・支援体制の充実	まるっとこどもセンター	ひとり親家庭向け就業支援講習会	①対象：ひとり親家庭の親及び寡婦 ②取組内容：就業・自立支援センター（大阪府母子寡婦福祉連合会へ委託）において、パソコン初級講座、介護職員初任者研修等の受験対策等全12講座の就業自立支援講習会を実施 ③実績値：受講者数 8人	—	現状維持	ひとり親家庭の親等について、相談や講習会に参加できる機会を確保し、技能の取得をすることで就労につながり、安定した生活ができるように努めた。
2 子どもの人権	児童虐待の予防・防止	まるっとこどもセンター	枚方市ヤングケアラー等世帯訪問支援事業	①対象：概ね18歳までの子どもを含む世帯のうち、支援が必要なヤングケアラーがいる世帯 ②取組内容：家事援助及び育児援助を行う訪問支援員を派遣 ③実績値：利用実績回数 333回	—	現状維持	家事援助及び育児援助を行う訪問支援員を派遣し、世帯の家事・育児支援等の支援を提供し、子ども及びその世帯の負担軽減を図った。

## 基本方向3. 人権相談・支援体制の充実 (2) 支援体制

★：枚方市人権尊重のまちづくり基本計画令和6年度取組実績に掲載している項目 ↓

人権問題	取り組みの方向性	担当課	取組名称	R6年度の取組内容	協働している関係機関等の名称 (基本方向4：関係団体、市民団体等との協働)	今後の方向	人権尊重のまちづくりの觀点から 工夫したことや課題など
2 子どもの人権	児童虐待の予防・防止	児童生徒課	子どもの見守り体制の確立 (児童虐待、子どもの貧困、ヤングケアラー)	①対象：枚方市立小中学校 ②取組内容：児童虐待の防止にあたり、児童・生徒が相談しやすい体制を構築するとともに、児童・生徒や保護者の状況把握と、未然防止、早期発見・早期対応に取り組んだ。また、その際には、スクールソーシャルワーカー やスクールカウンセラー等の専門家や関係機関との連携を図った。 ③実績値：スクールソーシャルワーカー活動回数 2,096回 スクールカウンセラー活動回数 1,155回	—	現状維持	・学校現場での専門職の介入により、福祉的支援が必要な家庭の早期発見や支援に努め、こどもたちの学ぶ権利を保障できる取り組みを進めている。 ・月1回、中学校と関係諸機関との連絡会を開催し、子どもたちの見守り体制の構築強化を図っている。 ・学校へまるっとこどもセンターとの連携を促し、複合的な課題を抱えている家庭の養育的環境が整うようにしている。
2 子どもの人権 3 高齢者の人権 4 障害のある人の人権 17 様々な人権問題	2:児童虐待の予防・防止 ・相談・支援体制の充実 3:相談・支援体制の充実 4:虐待防止の啓発推進 ・相談・支援体制の整備・充実 17:様々な人権問題についての理解促進	健康福祉総合相談課	重層的支援体制整備事業	①対象：複雑化・複合化した地域生活課題を抱える市民 ②取組内容：庁内の生活困窮、高齢、障害、子どもの各分野の担当者及びコミュニティソーシャルワーカーを中心として支援会議及び重層的支援会議を開催した。 ③実績値：62回	社会福祉法人 枚方市社会福祉協議会	現状維持	生活保護および保健医療分野の職員を支援会議のメンバーに加え、より幅広な視点で問題解決を図った。
2 子どもの人権 4 障害のある人の人権	2:相談・支援体制の充実 4:相談・支援体制の整備・充実	私立保育幼稚園課	障害児保育補助	①対象：私立保育所（園）、認定こども園 ②取組内容：保護者の就労などにより保育が必要な障害のある児童を受け入れに係る補助を行った。 ③実績値：46施設において計205人	・私立保育所（園） ・認定こども園 ・小規模保育事業実施施設	拡充	現行の補助額では実際に雇用する人件費に達していないため、令和7年度より補助額を引き上げ、対象施設に対する補助の拡充を予定。
2 子どもの人権 4 障害のある人の人権	2:相談・支援体制の充実 4:相談・支援体制の整備・充実	公立保育幼稚園課	発達障害等に関する幼稚園巡回相談	①対象：市内就学前施設職員及び、保護者 ②取組内容：発達障害等に関する専門的な知識・技能を持つ相談員3名を幼稚園に派遣し、教職員に対する指導助言や、幼児・未就園児の保護者からの相談に応じた。 ③実績値：375回相談を実施。	—	現状維持	所管する公立施設のみでなく、民間の就学前児童施設も対象している。
2 子どもの人権 4 障害のある人の人権	2:相談・支援体制の充実 4:相談・支援体制の整備・充実	公立保育幼稚園課	幼児ことばの教室	①対象：言語の障害（吃音、構音障害等）のある就学前の幼児（5歳児） ②取組内容：元教員による言語訓練及び保護者からの教育相談を実施した。 ③実績値：131人延べ13回 相談を実施。	—	現状維持	所管する公立施設のみでなく、民間の就学前児童施設も対象している。
2 子どもの人権 4 障害のある人の人権	2:相談・支援体制の充実 4:バリアフリー化の推進	施設整備課	学校エレベーター設置	①対象：学校利用者 ②取組内容：「学校施設のエレベーター整備等に関する方針」に基づくエレベーターの設置工事 ③実績値：1件完了し、3件着手した。	—	現状維持	
2 子どもの人権 3 高齢者の人権 4 障害のある人の人権 7 外国人の人権 12 性的マイノリティ（LGBT等）の人権	2:相談・支援体制の充実 3:相談・支援体制の充実 4:相談・支援体制の整備・充実 7:相談・支援体制の整備・充実 12:相談・支援体制の整備・充実	市駅周辺まち活性化部	新庁舎整備に向けた個別意見聴取	①対象：枚方市民 ②取組内容：新庁舎の各機能の検討を行うために、高齢者、障害のある人、子育て世帯、外国人、LGBTQ+等への必要な配慮を把握するために、当事者や関係団体へ個別意見聴取を行った。 ③実績値：多様な意見を確認できた。今後の検討の参考とする。	—	終了（完了）	
2 子どもの人権 4 障害のある人の人権 7 外国人の人権 12 性的マイノリティ（LGBT等）の人権	2:相談・支援体制の充実 4:バリアフリー化の推進 7:相談・支援体制の整備・充実 12:相談・支援体制の整備・充実	市駅周辺まち活性化部	枚方市駅前行政サービスの再編	①対象：枚方市民 ②取組内容：市駅周辺の行政サービスの再編において、多言語対応の案内サインや誰もが利用できるこどもトイレを設置するなど、多種多様な方に配慮した施設を整備した。 また、複合施設の駐車場に、市独自で行政サービスフロア用の「妊娠やベビーカー利用の方のための駐車区画（2区画）」を設置した。 ③実績値：令和6（2024）年9月17日 供用開始	—	終了（完了）	
3 高齢者的人権	高齢者や認知症についての理解促進	健康福祉政策課	シルバー人材センター事業費補助事業	①対象：高齢者 ②取組内容：高齢者の知識や技能を活かした事業を通して、センターの設置目的である高齢者が働くことを通じた生きがいづくり、さらなる地域社会の活性化への貢献につなげていくことを効果的に支援する。R6年度は、英会話教室やスマホお助け教室等の「幅広い世代の居場所づくり事業」や「遊休地活用事業」の経費の一部を補助した。 ③実績値：令和6年度末会員数：1,772名	公益社団法人 シルバー人材センター	現状維持	
3 高齢者的人権	高齢者や認知症についての理解促進	健康福祉政策課	みまもりあいステッカーの配付	①対象：・枚方市内に住所があり、在宅で生活をしている方 ・要介護または要支援認定を受けている方（介護認定申請の予定・検討中を含む） ・認知症（若年性認知症を含む）による徘徊症状がみられる方 ・緊急連絡先となり、発見者等からの連絡に対応することができる家族等がいる者 ②取組内容：認知症による徘徊がみられる高齢者を介護している家族に対し、申請代行、登録についての説明、入会金・利用料（1年間の年間利用料）の補助を行った。（R7年2月まで） ③実績値：申請者12人	地域包括支援センター	現状維持	

★  
(P.10)★  
(P.10)

## 基本方向3. 人権相談・支援体制の充実 (2) 支援体制

人権問題	取り組みの方向性	担当課	取組名称	R6年度の取組内容	協働している関係機関等の名称 (基本方向4:関係団体、市民団体等との協働)	今後の方向	人権尊重のまちづくりの観点から 工夫したことや課題など
3 高齢者的人権	高齢者や認知症についての理解促進	健康福祉政策課	ひらかたSOSキーホルダーの配付	①対象: 市内に住所を有する65歳以上の者 市内に住所を有する40歳以上の認知症がある者 市長が特に必要と認める者 ②取組内容: 外出先で倒れたり、保護された時、緊急連絡先を記載したキーホルダーに連絡ができるよう、地域に身近な地域包括支援センターでも申請受付を行った。 ③実績値: 配付数2,301個	地域包括支援センター	現状維持	
3 高齢者的人権	相談・支援体制の充実	健康福祉総合相談課	緊急通報装置設置事業	①対象: おおむね65歳以上のひとり暮らし高齢者等 ②取組内容: 在宅生活の支援のため、消防署への通報や相談センターにつながる緊急通報装置を貸与し、ひとり暮らし高齢者等が自宅で安心して暮らしきることのできる環境づくりを進めた。 ③実績値: 2,631人（うち新規申請者数: 251人）	—	現状維持	緊急通報装置を利用した相談の際には、電話だけでなくFAXによる対応も行っている。
3 高齢者的人権	・高齢者や認知症についての理解促進 ・相談・支援体制の整備・充実	健康福祉総合相談課	高齢者虐待防止ネットワーク会議	①対象: 枚方市介護支援専門員連絡協議会、保健医療課、枚方市社会福祉協議会等関係機関 ②取組内容: 高齢者虐待の相談先である地域包括支援センターと協力し、関係機関との連携強化を目的にネットワーク会議を開催。 ③実績値: 北部・中部・南部・東部の4エリアで開催	・地域包括支援センター ・社会福祉法人 枚方市社会福祉協議会 ・市内介護保険事業者	現状維持	早期発見・早期対応することで高齢者の権利利益を擁護する支援を行っている。
3 高齢者的人権 4 障害のある人の人権	3:相談・支援体制の充実 4:相談・支援体制の整備・充実	危機管理政策課	避難行動要支援者の個別避難計画について 枚方市地域防災計画に掲載	①対象: 避難行動要支援者 ②取組内容: 枚方市地域防災計画において、避難行動要支援者の同意に基づく個別避難計画の作成や、警察・消防組合・社会福祉協議会等の避難支援等関係者への提供について記載。 ③実績値: 掲載済	・枚方警察署、交野警察署 ・枚方寝屋川消防組合 ・社会福祉協議会などの避難支援等関係者	現状維持	
3 高齢者的人権 4 障害のある人の人権	3・4バリアフリー化の推進	市駅周辺まち活性化部	③街区北口駅前広場の整備検討	①対象: 枚方市民 ②取組内容: 北口駅前広場の整備に伴い、駅前広場の機能について、バリアフリー協議会にて意見を聴取した。 ③実績値: 音声触知サイン（音声と触る案内の併用）の設置など北口駅前広場の設計に反映した。	バリアフリー協議会	拡充	
3 高齢者的人権 4 障害のある人の人権	3: 高齢者や認知症についての理解促進 ・相談・支援体制の充実 4: 障害についての理解促進 ・相談・支援体制の整備・充実	健康福祉総合相談課	成年後見制度	①対象: 認知症や知的障害その他の精神上の障害等により判断能力が不十分な人 ②取組内容: 対象者を法律的に支援し、本人の権利を守る手段である成年後見制度について、利用促進に係る施策を総合的かつ計画的に推進することを目的として策定した枚方市成年後見制度利用促進計画に基づき設置したひらかた権利擁護成年後見センターにおいて、関係団体間のネットワークの構築・連携等を図りながら利用促進を進めた。 ③実績値: 相談・支援延件数1,151件、専門相談延件数9件、専門職派遣延件数2件	ひらかた権利擁護成年後見センター	現状維持	権利擁護のさらなる推進を目指して、制度の周知や連携支援を行い個人の意思を尊重した支援を実施している。
3 高齢者的人権 4 障害のある人の人権	3:相談・支援体制の充実 4:相談・支援体制の整備・充実	環境事業課	■ふれあいサポート収集 ■大型ごみ持出しサポート収集	■ふれあいサポート収集 ①対象: 市内に住所を有し、次のいずれかに該当する者のみで構成される世帯で、かつ、ホームヘルプサービスを現に利用されている方。 (1)要介護認定において、要介護1以上 (2)身体障害者手帳の交付を受け、障害の程度が1級または2級 (3)大阪府療育手帳の交付を受け、障害の程度がA (4)精神障害者保健福祉手帳の交付を受け、障害の程度が1級 ②取組内容: 家庭ごみを集積場所まで持ち出すことが困難な高齢者、障害者等の世帯に対し、戸別の収集を行う。 ③実績値: 登録世帯数（231世帯） ■大型ごみ持出しサポート収集 ①対象: 市内に住所を有し、次のいずれかに該当する者のみで構成される世帯。 (1)75歳以上 (2)要支援認定において、要支援1以上 (3)要介護認定において、要介護1以上 (4)身体障害者手帳の交付を受け、障害の程度が1級または2級 (5)大阪府療育手帳の交付を受け、障害の程度がA (6)精神障害者保健福祉手帳の交付を受け、障害の程度が1級 (7)前各号に掲げる者と同一世帯に属する18歳未満である者 ②取組内容: 大型ごみ等を屋内から集積場所に搬出することが困難な高齢者、障害者等の世帯に対し、大型ごみ等を屋内から搬出し、収集を行う。 ③実績値: 利用件数（409件）	—	拡充	令和7年度から、妊娠している者及び産後1年未満である者や、骨折等の傷病により一時に大型ごみの搬出が困難である者を対象者へ加えた。
3 高齢者的人権 4 障害のある人の人権	3・4: バリアフリー化の推進	土木政策課	枚方市バリアフリー推進協議会	①対象: 枚方市バリアフリー推進協議会の構成員 ②取組内容: 当事者及び交通事業者等で構成する「枚方市バリアフリー推進協議会」を開催し、バリアフリー基本構想に基づく道路特定事業計画をはじめ、各事業者からのハード・ソフト両面からの取り組み内容の報告を行い、当事者との意見交換を行った。 ③実績値: 令和7年1月29日に開催	—	現状維持	【工夫したこと】 ・「心のバリアフリー」の出前講座を禁野小学校で実施した。【小学校6年生2クラス（約60人）】 ・各事業者からのハード・ソフト両面からの取り組み内容の報告を行い、当事者との意見交換を実施した。
3 高齢者的人権 4 障害のある人の人権	3・4: バリアフリー化の推進	中央図書館	活字による読書が困難な利用者への対面読書の実施	①対象: 活字資料の利用が困難な利用者 ②取組内容: 読書の機会を提供するため、希望する本や雑誌、新聞などを図書館に個人登録している音訳者が対面で読むサービスを実施した。インターネットを利用しての遠隔対面も実施した。 ③実績値: 実施回数87回	厚生労働省	現状維持	
3 高齢者的人権 4 障害のある人の人権	3・4: バリアフリー化の推進	中央図書館	点字・録音図書の提供	①対象: 活字資料の利用が困難な利用者 ②取組内容: 読書の機会を提供するため、希望する点字図書や録音図書を提供した。希望する点字・録音図書が市内にない場合は、全国の図書館から借りて提供した。 ③実績値: 貸出数 点字図書30タイトル、録音図書2,657タイトル	厚生労働省	現状維持	

## 基本方向3. 人権相談・支援体制の充実 (2) 支援体制

人権問題	取り組みの方向性	担当課	取組名称	R6年度の取組内容	協働しているの関係機関等の名称 (基本方向4 : 関係団体、市民団体等との協働)	今後の方向	人権尊重のまちづくりの観点から 工夫したことや課題など
3 高齢者の人権 7 外国人の人権	3:相談・支援体制の充実 7:相談・支援体制の整備・充実	支援教育課	夜間中学校	①対象：様々な事情で小学校や中学校を卒業できなかった市民 ②取組内容：様々な事情で小学校や中学校を卒業できなかった人に対して、学ぶ機会を設けている守口市立さつき学園夜間学級の入学者募集情報を、広報ひらかたに掲載したり、枚方市立生涯学習センターや枚方市立図書館等にチラシを配架したりした。 ③実績値：広報8月・3月号に掲載 28施設へ配架	守口市立さつき学園夜間学級	現状維持	
4 障害のある人の人権	バリアフリー化の推進	議事調査課	枚方市議会報 点字・録音版の発行	①対象：視覚に障害がある市民 ②取組内容：枚方市議会報点字・録音版を発行した。 ③実績値： 議会報（256号）：点字議会報9部、声の議会報33部 議会報（257号）：点字議会報9部、声の議会報32部 議会報（258号）：点字議会報9部、声の議会報32部 議会報（259号）：点字議会報9部、声の議会報32部 議会報（260号）：点字議会報9部、声の議会報33部 議会報（261号）：点字議会報9部、声の議会報34部	—	現状維持	
4 障害のある人の人権	バリアフリー化の推進	広報プロモーション課	広報ひらかた 点字・録音版の発行	①対象：市内に住む点字・録音版を必要とする方 ②取組内容：広報ひらかた点字・録音版の発行・配布 ③実績値：点字版…月8部、CD…月平均34部	—	現状維持	引き続き、点字・録音版を必要とする方のために発行する。
4 障害のある人の人権	バリアフリー化の推進	広報プロモーション課	ひらかた便利帳 点字・録音版の発行	①対象：市内に住む点字・録音版を必要とする方 ②取組内容：ひらかた便利帳点字・録音版の配布 ③実績値：点字版…0部、CD…0部	—	現状維持	引き続き、点字版・録音版を必要とする方のために発行・配布する。
4 障害のある人の人権	・障害についての理解促進 ・相談・支援体制の整備・充実	健康福祉政策課	障害者水泳教室	①対象：障害児、障害者とその親、ファミリー ②取組内容（実績値含む）： 障害者水泳教室（中学生以上）：全4回開催（参加人数：計46人） 障害児（者）ファミリー水泳：全21回（参加人数：計145組367人）※介助者含む 障害児（者）水泳教室（初級）：全7回（参加人数：計90組165人）※介助者含む 障害児（者）水泳教室（中級）：全7回（参加人数：計66組68人）※介助者含む	HUG共同事業体	現状維持	
4 障害のある人の人権	相談・支援体制の整備・充実	障害企画課	地域活動支援センター事業	①対象：支援を希望する市民（障害者、障害児） ②取組内容：サロン活動や各種教室の開催など創作的活動や生産活動を通じて、障害のある方へ社会との交流などを行った。 ③実績値：事業所 9カ所	市内9カ所の事業所	現状維持	
4 障害のある人の人権	雇用・就業体制の支援	障害支援課	障害者チャレンジ雇用会計年度任用職員	①対象：一般就労を希望する知的障害者、精神障害者 ②取組内容：前年度からの継続の1名に加え、新たに精神障害者2名を採用した。 ③実績値：1月に、1名が心身の不調等を理由に退職し、前年度から継続雇用されていた者1名は、就職先が決定制した。	枚方市障害者就業・生活支援センター	現状維持	
4 障害のある人の人権	バリアフリー化の推進	障害支援課	障害者世帯の住宅改造助成	①対象：重度の障害者 ②取組内容：住宅改造助成に必要な費用の補助を行った。 ③実績値：18件の補助金を交付	枚方市理学療法士会	現状維持	適切な改造工事が行われるよう、理学療法士の意見を踏まえ、補助を行った。
4 障害のある人の人権	雇用・就業体制の支援	障害支援課	エル・フェスタinひらかた 合同就職面接会（障害者合同就職面接会）	①対象：一般就労を希望する障害者 ②取組内容：1月に、ハローワーク枚方において、4社が参加して合同就職面接会を開催した。 ③実績値：応募者の中から5名が採用された。	・枚方市障害者就業・生活支援センター ・ハローワーク枚方	現状維持	
4 障害のある人の人権	バリアフリー化の推進	障害支援課	重度障害者住宅改造助成事業協力店募集	①対象：重度の障害者 ②取組内容：住宅改造助成事業を利用する市民に対して、無料で見積を行い、適正な料金で施工する業者を募集した。 ③実績値：16社を協力店名簿に掲載した。	—	現状維持	
4 障害のある人の人権	バリアフリー化の推進	中央図書館	読書バリアフリー講演会	①対象：視覚障害児・者の読書問題に関心のある市民 ②取組内容：通常の活字による読書や情報入手が困難な人に対して行っている障害者サービスの一環として、全国視覚障害者情報提供施設協会の西村浩生（サビエ事務局長）氏と浅野歩（事務局長）氏、株式会社図書館流通センター障害者サービスマネージャー川口泰輝氏を講師に迎え、「～読書をあきらめないで！障害や病気で好きな本が読めなくなったあなたへ！～」をテーマに読書バリアフリー講演会を開催した。 ③実績値：令和7年1月25日（土）13:00～16:30実施。参加者数28人	厚生労働省	現状維持	
4 障害のある人の人権	障害についての理解促進	中央図書館	手話ブックトーク	①対象：聞こえない又は聞こえにくい人、テーマに関心のある市民 ②取組内容：関西大学学院手話言語研究センター主任研究員の前川和美氏を講師に迎え、「～手話言語研究センターの活動と「ろう文化」の理解のための取り組みについて～」をテーマに「読書バリアフリー講演会及び手話ブック」を開催した。 ③実績値：令和6年12月21日（土）10:00～12:00実施。手話の読み取り通訳付き。参加者数49人	—	現状維持	
4 障害のある人の人権	バリアフリー化の推進	中央図書館	バリアフリー映画上映会	①対象：市民 ②取組内容：視覚障害者や聴覚障害者にも楽しめる映画会を開催することにより来館のきっかけをつくるとともに、健常者に対して障害者に関する理解を深めるため、音声ガイド・日本語字幕付きDVDを上映し、手話通訳、磁気ループを配置した。 上映作品：2021年公開映画「老後の資金がありません！」 ③実績値：令和6年10月26日13:30～15:30実施、参加者数61名	—	現状維持	

## 基本方向3. 人権相談・支援体制の充実 (2) 支援体制

★：枚方市人権尊重のまちづくり基本計画令和6年度取組実績に掲載している項目 ↓

人権問題	取り組みの方向性	担当課	取組名称	R6年度の取組内容	協働している関係機関等の名称 (基本方向4：関係団体、市民団体等との協働)	今後の方向	人権尊重のまちづくりの觀点から 工夫したことや課題など
4 障害のある人の人権	バリアフリー化の推進	中央図書館	手話でたのしむおはなし会	①対象：市民 ②取組内容：聞こえる人も聞こえない人も一緒に楽しめるよう、絵本の読み聞かせに手話をつけて行った。 ③実績値：実施回数4回 参加者数合計60人	—	現状維持	
4 障害のある人の人権 7 外国人の人権	4・7:相談・支援体制の整備・充実	危機管理対策推進課	枚方市防災ガイド外国語・音訳・点訳版発行	①対象：市内在住の外国人 ②取組内容：枚方市防災ガイドの外国語版を配布した。 ③実績値：市役所及び各支所に配備済	—	現状維持	
5 こころの病（うつ病など）に関する人権	こころの病（うつ病など）についての理解促進	文化生涯学習課	うつ病情報交流会	①対象：本人、家族、うつ病に関心のある人 ②取組内容：交流、情報交換の場の提供。 ③実績値：参加者延べ人数76人	—	現状維持	
7 外国人の人権	・多文化についての理解促進 ・相談・支援体制の整備・充実	広報プロモーション課	広報ひらかた 多言語対応アプリで配信	①対象：枚方市に興味のある人 枚方市在住の人 ②取組内容：広報ひらかたを多言語対応アプリ「Catalog Pocket」で、英語、中国語簡体字・繁体字、韓国・朝鮮語、タイ語、ポルトガル語、スペイン語、インドネシア語、ベトナム語、日本語で配信した。 ③実績値：R6.4月号～R7.3月号 総視聴回数 29,599回	—	拡充	外国語の視聴が全体的に低く、外国人へのカタログポケットの周知を行い、より多くの視聴者獲得へ繋げる。
7 外国人の人権	相談・支援体制の整備・充実	広報プロモーション課	ホームページ 多言語・やさしい日本語対応	①対象：市HP利用者 ②取組内容：市HP利用者が誰でも変換対応できるようにした。 ③実績値：やさしい日本語 表示回数 3,628回、利用者数 2,176人 多言語対応 合計592回表示	—	現状維持	日本語に不慣れな人にも市の情報を分かりやすく伝える取り組みとして継続していく。
7 外国人の人権	相談・支援体制の整備・充実	広報プロモーション課	市勢要覧 外国語での発行	①対象：市勢要覧外国語版を必要とする方 ②取組内容：市勢要覧外国語版の配布 ③実績値：868部	—	現状維持	引き続き、外国語版を必要とする方のために発行・配布する。
7 外国人の人権	相談・支援体制の整備・充実	観光交流課	通訳・翻訳サポートの派遣	①対象：府内各課 ②取組内容：府内各課の依頼に基づき行政サービスに係る通訳、翻訳を行った。 ③実績値：通訳72件、翻訳82件	—	現状維持	新しいボランティアの補充が課題。
7 外国人の人権	相談・支援体制の整備・充実	健康福祉政策課	枚方市医療通訳士登録派遣事業	①対象：日本語を話せない外国人生民等 ②取組内容：安心して市内の医療機関を利用できる環境づくりを行うとともに、コミュニケーションギャップに起因する医療従事者の負担や診療上のリスクを軽減することを目的に、医療通訳士（医療通訳ボランティア）を派遣した。 ③実績値：派遣件数388件、通訳士登録者数19名	特定非営利活動法人 多文化共生センター きょうと	現状維持	
7 外国人の人権	相談・支援体制の整備・充実	教育政策課 (文化生涯学習課)	枚方市日本語・多文化共生教室 「よみかき」	①対象：日本語の読み書きや会話に困っている方 ②取組内容：日常生活において、日本語の読み書きや会話に困っている方に、学習の場を提供することを目的として、6か所の生涯学習市民センターにて開催した。 ③実績値：実施回数564回、延べ参加者数2,166人	—	現状維持	学習者の希望に対応できるよう、研修を通じてスタッフのスキルアップを図った。
7 外国人の人権	相談・支援体制の整備・充実	支援教育課	在日外国人教育の推進と日本語指導の充実	①対象：日本語指導が必要な児童・生徒 ②取組内容：日本語指導加配教員による巡回指導（枚方市帰国児童等に対する教育指導員派遣事業含む） ③実績値：82名	—	見直し	編入時における派遣回数を柔軟に対応できるよう検討する。
8 HIV感染者、ハンセン病回復者及びその家族の人権	・HIV感染者・ハンセン病についての理解促進 ・相談体制の整備・充実	保健予防課	HIV匿名検査	①対象：HIV検査を希望する人 ②取組内容：毎週火曜日に匿名、無料でHIV検査を実施。翌週に結果返却。検査前相談、結果返却は個室で行い、受検者からの相談対応や予防啓発を実施する。 ③実績値：実施50回、受検者数340人	—	現状維持	・保健所の移転にあたり、プライバシーを確保した環境づくりに取り組む必要がある。 ・より匿名性や利便性が高い方法について検討が必要。
10 犯罪被害者支援やその家族等の人権	相談・支援体制の整備・充実	人権政策課	大阪府被害者支援調整会議における取組	①対象：市民 ②取組内容：大阪被害者支援アドボカシーセンターが調整役となる大阪府被害者支援調整会議に出席し、被害者が求める支援計画に基づき、対応する窓口の案内や情報提供など、適切な支援につなげた。 ③実績値：出席回数 3回	認定特定非営利活動法人 大阪府被害者支援アドボカシーセンター	現状維持	必要に応じて、市の関係機関と連携し、被害者の人権が守られるよう取り組んでいる。
11 ホームレスの人権	相談・支援体制の整備・充実	健康福祉総合相談課	住居がない、もしくは住居を失うおそれのある生活困窮者に対する一時生活支援事業	①対象：住居がない、もしくは住居を失うおそれのある生活困窮者 ②取組内容：住居がない、もしくは住居を失うおそれのある生活困窮者に対し、宿泊場所の供与、食事の提供等を行い、その後の自立に向けた支援を実施した。 ③実績値：32人	・大阪府 ・ホテル等協力施設	現状維持	対象者の人権が配慮されるよう、あらゆる観点から支援している。
12 性的マイノリティ(LGBT等)の人権	相談・支援体制の整備・充実	人権政策課	ひらかた・にじいろスペース	①対象：性的マイノリティ当事者 ②取組内容：性的マイノリティ当事者同士が気軽に集い、情報交換ができ、抱えている悩みについて参加者同士で語り合えるような場としてひらかた・にじいろスペース（LGBTQ+コミュニティスペース）を開催。 ③実績値：45回（毎月第3火曜日）	特定非営利活動法人 QWRC	現状維持	
12 性的マイノリティ(LGBT等)の人権	相談・支援体制の整備・充実	人権政策課	パートナーシップ宣誓制度	①対象：性的マイノリティ当事者 ②取組内容：誰もが多様性を認め合い、いきいきと暮らせる人権尊重のまちづくりに向けた取組の一環として、パートナーシップ宣誓制度を実施。また、制度利用者の府内での住所異動に伴う手続の負担軽減を図るために、同様の制度を実施している府及び府内10市とパートナーシップ宣誓制度の自治体間連携協定を締結した。 ③実績値：6組	大阪府、京都府、兵庫県のパートナーシップ制度導入自治体	現状維持	
12 性的マイノリティ(LGBT等)の人権	相談・支援体制の整備・充実	人権政策課	LGBTQ+チャット相談	①対象：LGBTQ+当事者や家族など ②取組内容：LGBTなどの性的マイノリティに関する専門チャット相談を月2回実施。 ③実績値：5件（R6.11～R7.3）	特定非営利活動法人 QWRC	現状維持	

★  
(P.10)★  
(P.10)★  
(P.11)

## 基本方向3. 人権相談・支援体制の充実 (2) 支援体制

★：枚方市人権尊重のまちづくり基本計画令和6年度取組実績に掲載している項目 ↓

人権問題	取り組みの方向性	担当課	取組名称	R6年度の取組内容	協働している関係機関等の名称 (基本方向4：関係団体、市民団体等との協働)	今後の方向	人権尊重のまちづくりの觀点から 工夫したことや課題など
12 性的マイノリティ (LGBT等) の人権	性の多様性についての理解促進	選挙管理委員会事務局	選挙従事者マニュアルへの配慮事項の記載	①対象：衆議院選挙の投票事務に従事した職員 ②取組内容：選挙事務従事者マニュアルへの配慮事項の記載、LGBTQ+の方への資料配布対応 ③実績値：衆議院選挙投票事務従事者 約830人	—	現状維持	引き続きLGBT等の方への配慮について対応した投票事務の遂行にあたる。
15 インターネットによる 人権侵害	インターネット上の差別情報の拡散防 止	人権政策課	インターネット上の誹謗中傷に対する モニタリング	①対象：枚方市(地区)及び枚方市民に係る差別的情報や書き込み ②取組内容：特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会への委託事業として、インターネット上のモニタリングを実施した。 ③実績値：個人への誹謗中傷件数 11件	特定非営利活動法人 枚方人権まちづくり協会	現状維持	曜日を変えて週に1回、1時間程度点検している。
17 様々な人権問題	様々な人権問題についての理解促進	市民生活政策課	戸籍等の取得に関する本人通知制度	①対象：枚方市に住民票や戸籍の情報がある人 ②取組内容：市町村が住民票の写しや戸籍謄本などを、代理人や第三者が交付した場合に、希望する本人に交付したことを知らせる制度で、不正取得による人権侵害を防止する。平日の本庁及び3支所での登録受付に加え、休日に3支所で臨時窓口を開設した。また、市が主催するイベント(ひらエコまつり)において、出張申請窓口を開設した。 ③実績値：107件	—	現状維持	本人通知登録者が増えることで、通知に係る審査等本人通知業務が増えてきていることから、今後システム化に取り組む必要がある。
17 様々な人権問題	様々な人権問題についての理解促進	健康づくり課	がん治療での見た目の悩みを支援（ウィックや人工乳房などの購入費用を一部補助）	①対象：申請日時点で枚方市に住民票がある人。がんと診断されその治療を受けた、または受けている人。対象の補整具を令和4年4月1日以降に購入した人。対象となる補整具について、過去に助成を受けていない人。 ②取組内容：がん治療による抗がん剤治療等により補整具の購入が必要となった人が補整具を購入した後に、補助金の申請があった際に、購入費用の補助金（上限額あり）を交付している。これにより、がん患者の心理的な負担を軽減し、社会参加の促進及び生活の質の向上を図る。 ③実績値：交付者数193人	枚方市内のがん相談支援センター	現状維持	ここでの健康を配慮するなかで、令和6年度よりLogoフォームの申請を開始することにより、外に出ることが困難な対象者に対して申請をしやすい状況を整えた。

★  
(P.10)